

【令知會雜誌】

号	年	月	日	種別	タイトル	著者名	頁数	備考
11	1885	2	21					持主兼印刷人：日下痴龍 編集人：平松理英 発行所：令知会／東京麹町区中六番町二十九番地
11	1885	2	21		印度仏陀伽耶菩提樹片略史	南條文雄	1	南條文雄稿
11	1885	2	21	講義	六合釈略弁(接前)	南條文雄	6	
11	1885	2	21	講義	如空論	辻顯高	17	
11	1885	2	21	講義	仏教大旨第七(接前)	吉谷寛寿	18	
11	1885	2	21	講義	哲学要領(接前)	井上甬水	23	
11	1885	2	21	論説	処変論	諺々居士	31	郵寄
11	1885	2	21	雑報	九件	著者名なし	38	「普通校」「神原居士追吊」「希臘教の困難」「不審」「外教師の策略」 「強剛難化」「仏教講談新年会」「諸報集」「一挙兩得」
11	1885	2	21	詩歌	詩十七首、歌七首		46	
11	1885	2	21	詩歌	雪中早梅	従四位 前田利豊	46	
11	1885	2	21	詩歌	某の遠慮と承りて	福田行誠	47	
11	1885	2	21	詩歌	乙酉試筆	福田行誠	47	
11	1885	2	21	詩歌	梅	石村桐陰	48	
11	1885	2	21	詩歌	廢園觀梅	石村桐陰	48	
11	1885	2	21	詩歌	太平洋舟中雜詩三十韻	南條碩果	48	
11	1885	2	21	集録	仏教東漸は継体帝の朝にあり	快菴逸史	51	
11	1885	2	21	集録	諸宗大意総論	石村貞一	58	石村貞一記
11	1885	2	21	本会記事	本会記事	著者名なし	62	
12	1885	3	21		印度仏陀伽耶菩提樹片略史追加	南條文雄	1	南條文雄稿
12	1885	3	21	講義	遺教経講義	福田行誠和上	13	福田行誠和上講述
12	1885	3	21	講義	仏教大旨第八(接前)	吉谷寛寿	19	
12	1885	3	21	講義	哲学要領(接前)	井上甬水	24	
12	1885	3	21	論説	会員諸君に告ぐ	平松理英	33	平松理英稿
12	1885	3	21	雑報	九件	著者名なし	41	「法主東上」「仏典講義」「反覆無常」「東洋哲学会」「同会質問」 「監獄問答」「身中之蟲」「殷鑑不遠」「他山之石」
12	1885	3	21	集録	学窓雜録(接前)	文末 南條文雄	49	雑誌内「贈嶋仁山書 十四年七月十二日」
12	1885	3	21	集録	仏教国景況の二	著者名なし	54	ラオス、カンボジア
12	1885	3	21	集録	殿と棟	石村貞一	61	
12	1885	3	21	附録	明治十七年度計算表	著者名なし		12号巻末に収録 令知會雜誌「發金收納細則」(13号附録)
16	1885	7	21		仏教の勢力今尚印度に現存す	南條文雄	1	
16	1885	7	21	講義	遺教経講義(接前)	行誠和上	6	雑誌内「三縁山行誠和上」
16	1885	7	21	講義	仏教に就ての疑問に答ふ	吉谷寛寿	15	
16	1885	7	21	論説	護法の精神は何れより起るか	平松理賢	23	平松理賢稿
16	1885	7	21	論説	大教校は東京に設置せざる可らず	白山俊賢	31	
16	1885	7	21	雑報	十二件	著者名なし	37	「諸報集」(田嶋生報)「嶋地黙雷師」「新井日薩師」「笠原研寿師」 「大学卒業」「妙な演説」「少年教会」「学師遷化」「幻燈会」 「烈公の名号」「興産の消費」「油断大敵」
16	1885	7	21	詩文	文三編、詩二首		49	
16	1885	7	21	詩文	理英師法語序	蓮船小栗栖香頂	49	
16	1885	7	21	詩文	雨田上人新居記	鮑盧北条祐賢	50	
16	1885	7	21	詩文	法数大主題詞	藹々病夫	52	
16	1885	7	21	詩文	冬夜有感 時在長州	南溪老人	53	
16	1885	7	21	詩文	書感	松陵翁	53	
16	1885	7	21	集録	支那仏教国の現況(第六)	著者名なし	54	
16	1885	7	21	集録	桐陰漫録	桐陰居士	59	
16	1885	7	21	本会記事	二件	著者名なし	64	
17	1885	8	21		仏教の勢力今尚印度に現存す(接前)	南條文雄	1	
17	1885	8	21	講義	仏教大旨第十(接前)	吉谷寛寿	4	雑誌内「仏教大旨第十一」
17	1885	8	21	講義	塔の考	南條文雄	15	
17	1885	8	21	論説	造化教の衰兆	遜堂逸史	19	遜堂逸史稿
17	1885	8	21	論説	僧徒教育法緒言	老婆心人	26	
17	1885	8	21	雑報	教海波瀾外八件	著者名なし	31	「教海波瀾」「東京近況」「外国布教」「ニコライ氏」「講義説教の取締」 「外護者の迷惑」「詩聖死去」「印度錫蘭島」「諷らしき話」「耶穌教志願書」「円応道鑑禪師遷化」
17	1885	8	21	詩文	詩十首		51	
17	1885	8	21	詩文	贈無着師二首	毛芥老人	51	
17	1885	8	21	詩文	送麟洲佛故山	毛芥老人	51	
17	1885	8	21	詩文	偶作	南園老衲	51	
17	1885	8	21	詩文	慶寺親連	著者名なし	52	
17	1885	8	21	詩文	園中雜咏五十首之一	著者名なし	52	
17	1885	8	21	詩文	題體體因	行誠道者	52	
17	1885	8	21	詩文	東海遊草	鳥尾得菴	53	
17	1885	8	21	詩文	相州塗上	著者名なし	53	
17	1885	8	21	詩文	十八日発大磯入函嶺	著者名なし	53	
17	1885	8	21	集録	笠原研寿師尺牘	著者名なし	54	笠原研寿がセイロン島滞在中に南條文雄に宛てた手紙の抜粋・編集したもの
17	1885	8	21	集録	桐陰漫録	桐陰居士	62	
17	1885	8	21	集録	螢雪余光	本多澄雲	63	
17	1885	8	21	本会記事	一件	著者名なし	64	
18	1885	9	21		僧門改良の今日に急務なる所を論ず	井上甬水	1	持主兼印刷人：日下痴龍 編集人：平松理英 発行所：令知会／東京神田区駿河臺西紅梅町十四番地
18	1885	9	21	講義	梵文大経の話	南條文雄	12	南條文雄稿
18	1885	9	21	講義	善光寺如来考	石村貞一	24	
18	1885	9	21	論説	僧徒教育法	婆心居士	28	
18	1885	9	21	雑報	教会欄外九件	著者名なし	33	「教海波瀾」「東京教報」「宗教改革」「清人信法」「英国人の幽霊」 「支那布教」「教師謁見」「副島種臣氏の閑蔵」「井上円了氏」「報告及雑誌」「瀝美契縁師」
18	1885	9	21	詩文	詩三首		47	
18	1885	9	21	詩文	五疊垂児碧行之韻懐香山老講師并引	著者名なし	47	
18	1885	9	21	詩文	明治九年遊西湖十八年七月二十四日与諸子会湖心亭	小栗栖蓮船	49	
18	1885	9	21	詩文	光養九殿下得度題之奉呈	著者名なし	50	
18	1885	9	21	集録	笠原研寿師尺牘	著者名なし	50	笠原研寿がセイロン島滞在中に南條文雄に宛てた手紙の抜粋・編集したもの
18	1885	9	21	問答	動物思想を有せりや否やの問	小笠原生	61	雑誌内題名「動物必ず思想ありや否やの問」
18	1885	9	21	問答	問答	井上甬水	61	
19	1885	10	21		印度仏陀伽耶に於て発見せられたる二碑の漢文	南條文雄	1	
19	1885	10	21	講義	遺教経講義(十六号の続)	行誠和上	9	雑誌内「三縁山行誠和上」
19	1885	10	21	講義	善光寺如来考(接前)	石村貞一	15	
19	1885	10	21	講義	哲学要領(十四号の続)	井上甬水	21	
19	1885	10	21	論説	著述家及仏教書肆に望む	松林馨	29	雑誌内「著述家及書肆に望む」
19	1885	10	21	雑報	教海波瀾外七件	著者名なし	35	「教海波瀾」「強信の童子」「寺嶋伯の確言」「文学会」「精神一倒」 「顯道会」「仏教の評論」「佛書出版会社」

19	1885	10	21	詩文	詩三首文一編		51	
19	1885	10	21	詩文	題名なし	小栗栖蓮船	51	
19	1885	10	21	詩文	読熱海唱和集書所感以供雨田上人一察	安井春江女史具稿	52	
19	1885	10	21	集録	西域回徒の風俗	本多澄雲	54	
19	1885	10	21	集録	桐陰叢語	石村貞一	59	雑誌内「桐陰居士」
19	1885	10	21	問答	動物は靈魂一なりや二なりやの間(外三件)	小笠原生	61	
19	1885	10	21	問答	同答	井上甫水	61	
19	1885	10	21		17号、18号 正誤表		66	
20	1885	11	21		錫蘭島仏教徒の書状	南條文雄	1	持主兼印刷人：日下痴龍 編集人：平松理賢 発行所：令知会／東京神田区駿河臺西紅梅町十四番地
20	1885	11	21		報恩義意	嶋地黙雷	10	雑誌内「島地黙雷」
20	1885	11	21	講義	善光寺如来考(接前)	石村貞一	19	
20	1885	11	21	講義	哲学要領(接前)	井上甫水	24	
20	1885	11	21	論説	興業策一則	北条祐賢	33	雑誌内「興業策一則 北条祐賢稿」
20	1885	11	21	雑報	教海波瀾外九件	著者名なし	36	「教海波瀾」後事將覆「高座演説」法話の結果「反覆常なし」 「哲学祭」神仏各宗一覽
20	1885	11	21	詩文	詩九首		53	
20	1885	11	21	詩文	東海遊草	鳥尾得菴居士	53	
20	1885	11	21	詩文	過箱根駅	著者名なし	54	
20	1885	11	21	詩文	遊三保	著者名なし	54	
20	1885	11	21	詩文	送杉山昌大之独乙用大庭雲心韵	桐陰居士	54	
20	1885	11	21	詩文	菊	著者名なし	55	
20	1885	11	21	詩文	書感	藤堂逸史	55	
20	1885	11	21	集録	香山院師伝	小栗栖香頂	55	
20	1885	11	21		桐陰叢語	桐陰居士	61	目次に題名なし
20	1885	11	21	本会記事	本会記事	著者名なし	64	
20	1885	11	21	報告	報告	著者名なし	64	
21	1885	12	21		万法唯心	島地大等	1	雑誌内著者名「黙」が「嘿」また、題名が「万法唯心説」
21	1885	12	21	講義	遺教経講義(十九号続)	行誠和上	13	雑誌内「三縁山行誠老和上」
21	1885	12	21	論説	教化を篤くする説	石村貞一	20	雑誌内題名「教化を敦くする説」
21	1885	12	21	論説	撒斯克学はさるへからず	瘦松学人	27	雑誌内題名「撒斯克学はさる可らず」
21	1885	12	21	論説	言行均等論	菅原碩城	37	
21	1885	12	21	雑報	教海波瀾外十一件	著者名なし	41	「教海波瀾」(伊藤大忍氏報)「貴顕外教を信す」(安南虐殺の詳細) 報(十一月二十五日官報)「女教師来る」(基督教内幕の二)「仏 教講談会」(新嶋義氏)「北陸仏道教会」(学位授与式)「仏書英 訳」(仏教各宗内部改良論)「頂門一針」
21	1885	12	21	詩文	詩十四首		52	
21	1885	12	21	詩文	乙酉十月西京客中遥賀家萱六十	頑児嚙雷	52	島地黙雷
21	1885	12	21	詩文	清水大儒人壽詞為雨田上人囑	養拙居士 西川甫	52	
21	1885	12	21	詩文	同	灌園居士 石津発	53	
21	1885	12	21	詩文	同	亀陰老人 小山薫茶	53	
21	1885	12	21	詩文	同	小仙逸史 幡山教円	53	
21	1885	12	21	詩文	同	緬漢道人 香川傑晃	53	
21	1885	12	21	詩文	同	研香散史 小野省己	53	
21	1885	12	21	詩文	同	鷗堂仙史 青地周邦	54	
21	1885	12	21	詩文	咏梅壽島地大儒人六十	林双橋老人	54	
21	1885	12	21	詩文	森勝美像賛勢州庄野人	雨田道人	54	
21	1885	12	21	詩文	小蓮草堂小集次五岳翁之韵	雨田道人	54	
21	1885	12	21	詩文	角島臆目	柳溪逸史	55	
21	1885	12	21	詩文	歲晚	桐陰居士	55	
21	1885	12	21	詩文	客人問弊居	桐陰居士	55	
21	1885	12	21	集録	支那人新刊書を日本僧に寄せ来る	南條文雄	55	
21	1885	12	21	集録	濠洲「ヒクトリヤ」州誌抜粋	著者名なし	57	
21	1885	12	21	報告	報告		64	
21	1885	12	21		19号、20号 正誤表		64	
22	1886	1	21		新年感を書して会友諸兄に告ぐ	島地黙雷	1	持主兼印刷人：河野陳平 編集人：平松理賢 発行所：令知会／東京麹町区上六番町四番地
22	1886	1	21	講義	遺教経講義	行誠和上	9	雑誌内「三縁山行誠老和上」
22	1886	1	21	講義	印度哲学数論の綱領	南條文雄	19	
22	1886	1	21	論説	活物説	石村貞一	26	雑誌内「活物の説」
22	1886	1	21	論説	明治十九年布教の方針	平松理賢	32	
22	1886	1	21	論説	読奥論新誌	平松理賢	41	
22	1886	1	21	雑報	教海波瀾外十件	著者名なし	49	「教海波瀾」大蔵翻訳「梵語の話」「難弟難兄」(伝道費)「ビゲ ロー氏」(太政官文書局)「東洋居士訃音」(錫蘭嶋仏教徒書状) 「行誠上人の間」(徴兵之教)
22	1886	1	21	詩文和歌	詩十二首文一編歌四首		59	
22	1886	1	21	詩文和歌	天山遺稿序	雨田道人	59	
22	1886	1	21	詩文和歌	丙戌新年	必山居士	59	
22	1886	1	21	詩文和歌	丙戌元旦	石村桐陰	60	
22	1886	1	21	詩文和歌	和桐陰子新年作	河野荃汀	60	
22	1886	1	21	詩文和歌	新年遊染井村	河野荃汀	60	
22	1886	1	21	詩文和歌	嗣荃汀詩伯韵	石村桐陰	60	
22	1886	1	21	詩文和歌	乙酉除夜	河野荃汀	60	
22	1886	1	21	詩文和歌	乙酉除夜讀建歳花喜賦	北条蘭崖	61	
22	1886	1	21	詩文和歌	明治十九年一月一日偶作	溪雲峰	61	
22	1886	1	21	詩文和歌	丙戌元旦	佐々木通真	61	
22	1886	1	21	詩文和歌	丙戌新年	石泉居士	62	山口県周防富海人
22	1886	1	21	詩文和歌	緑竹年久	土岐善静	62	
22	1886	1	21	詩文和歌	乙酉歲暮	石泉居士	62	
22	1886	1	21	詩文和歌	丙戌元旦	著者名なし	62	
22	1886	1	21	本会記事	本会記事	著者名なし	63	
22	1886	1	21	報告	報告	著者名なし	63	
23	1886	2	21		錫蘭嶋仏教徒グヲ子ト子氏の書状訳 附雲照律師の問 教学の前途如何	南條文雄	1	
23	1886	2	21	講義	故意不故意(監獄教題第五)	吉谷寛寿	14	
23	1886	2	21	講義	唯識小階緒言	嶋地黙雷	20	雑誌内「故作不故作(監獄教題第七) 島地黙雷」
23	1886	2	21	論説	申小野東洋居士	北条祐賢	23	
23	1886	2	21	論説	關西地方に支会を設立あらんことを望む	平松理賢	28	雑誌内題名「吊小野東洋居士」文末に「學知 平松理賢和南」
23	1886	2	21	論説	教海波瀾外	自貢居士	31	
23	1886	2	21	雑報	著者名なし	著者名なし	35	「教海波瀾」(「仏教講談収録」(横須賀演説)「伝道費議決」(猶太 人学士会)「通俗耶穌教問答」(英語旧約書の出版高)「無漸愧法 師」(東洋居士追悼会)
23	1886	2	21	詩文和歌	詩文和歌		51	
23	1886	2	21	詩文和歌	教海美譚序	小栗栖香頂誌	51	
23	1886	2	21	詩文和歌	憶故東洋小野居士次其自著國憲汎論題詩之韻	雨田逸史	54	
23	1886	2	21	詩文和歌	悼東洋居士	「口毎」漱老納	54	
23	1886	2	21	詩文和歌	同	蘇堂居士	55	
23	1886	2	21	詩文和歌	同	行誠老人	55	
23	1886	2	21	詩文和歌	同	土岐善静	55	
23	1886	2	21	詩文和歌	同	土岐善静	55	
23	1886	2	21	集録	新書籍英清より来る	南條文雄	56	
23	1886	2	21	本会記事	本会記事	著者名なし	63	
24	1886	3	21		方法唯心説	嶋地黙雷	1	島地黙雷
24	1886	3	21	講義	唯識小階	北条祐賢	6	
24	1886	3	21	講義	婆羅門教及ひ仏教の話	藤井直正訳	12	英人の度礼波氏人智啓論中より抄出す 25号に正誤表

24	1886	3	21	論説	外教の蔓延せざるを憂ふ	石村貞一	16	桐陰居士 文末「無可有郷居士評」
24	1886	3	21	論説	僧侶自活論	平松理賢	23	
24	1886	3	21	雑報	教海波瀾外十四件	著者名なし	31	「教海波瀾」太田了々子孤山逸民報(文末)「仏教講談条例」出版書籍「仏教新聞」「他山之石」「咄々怪事」「鉄舟居士」「耶穌教傳播の理由」「基督教業報」「動物創造論」「雑誌及学塾」「東洋哲学会」「心理学及論理学」「鉄錐の下落」「瀧山義浄師」
24	1886	3	21	詩文和歌	選訳集講義序	南條文雄	53	
24	1886	3	21	詩文和歌	送毛利從五位之欧州	石村貞一	56	
24	1886	3	21	詩文和歌	文学士井上君使画工作四聖像余賛四聖者孔釈二氏及瑣克刺韓因他	中村正直 選	57	
24	1886	3	21	詩文和歌	登機部城墟	如淵 日高誠実	57	
24	1886	3	21	詩文和歌	遊機邊秘泉	著者名なし	57	
24	1886	3	21	詩文和歌	小野居士を悼みて	石上北天	57	
24	1886	3	21	集録	新書籍英清より来る(接前)	南條文雄	58	
24	1886	3	21	本会記事	本会記事	著者名なし	62	
25	1886	4	21		事業は進趣せざれば必ず退却を免かれず	嶋地黙雷	1	嶋地黙雷
25	1886	4	21	講義	成実宗八十四法考	吉谷堯孝	10	
25	1886	4	21	講義	印度紙葉考	沙門行智著 南條文雄校	13	緒言の文末に著者名
25	1886	4	21	論説	僧侶自活論(接前)	平松理賢	21	
25	1886	4	21	論説	僧侶は社会と併進すべし	雄山君龍	29	
25	1886	4	21	論説	自貢居士に同意を表し併せて京都會員に議る	豊島了寛	34	
25	1886	4	21	雑報	教海波瀾外十件	著者名なし	37	「教海波瀾」「島地副会長」「慈雲律師伝の逸事」「英人真宗教旨を鈔訳す」「耶穌教徒の熱心」「井上円了君の疑問」「清国及羅馬」「宗教の前途」「仏書英訳」「西教寺潮音師」「易言難行」
25	1886	4	21	詩文	仏教講談集録序	小栗栖香頂誌	57	
25	1886	4	21	詩文	甲戌園(穴戸湖坪翁別業)小集分春風江上路不覚到君家句為韻得風字	雨田逸史	59	
25	1886	4	21	詩文	送大久保中佐赴任丸亀	横井古城	59	
25	1886	4	21	詩文	同	河野荃汀	59	
25	1886	4	21	詩文	同	石村桐陰	60	
25	1886	4	21	詩文	同	横井古城	60	
25	1886	4	21	詩文	亀井戸観梅	横井古城	60	
25	1886	4	21	詩文	賀大畑某新居	横井古城	60	
25	1886	4	21	詩文	墨江観桜	河野荃汀	61	
25	1886	4	21	詩文	同	石村桐陰	61	
25	1886	4	21	集録	桐陰叢語	桐陰居士	61	
25	1886	4	21	本会記事	本会記事	著者名なし	64	
25	1886	4	21		24号正誤表	著者名なし	64	
26	1886	5	21					持主兼印刷人: 福沢重香 編集人: 平松理賢 発行所: 令知会ノ東京麹町区上六番町四番地
26	1886	5	21		文法起源	南條文雄	1	サンスクリットの文法起源 19年1月文法会の演説
26	1886	5	21		印度紙葉考(接前)	著者名なし	12	南條文雄?
26	1886	5	21		哲学要領(接前)	井上甫水	21	雑誌内著者名なし
26	1886	5	21	論説	告会員諸氏	平松理賢	28	平松理賢稿
26	1886	5	21	雑報	教海波瀾外十件	著者名なし	37	「教海波瀾」亦先鞭を着ける(十九年五月十三日基督教新聞)「明治の孟母」「仏教講談会」「出版書籍」「教師犯十誡」
26	1886	5	21	詩文	大村氏元相如翁送慈居士碑銘	著者名なし	49	文末 明治19年9月 前住妙心賜紫沙門部嶺撰文 正四位山岡鉄太郎篆額并書
26	1886	5	21	詩文	送老鉄画伯婦甲州	雨田逸史	53	
26	1886	5	21	詩文	同	石村桐陰	53	
26	1886	5	21	詩文	同次前韻	河野荃汀	53	
26	1886	5	21	詩文	同	横井古城	54	
26	1886	5	21	詩文	暮春吟依邵堯夫韻	河野荃汀	54	
26	1886	5	21	詩文	次河野荃汀詩宗韻	石村桐陰	54	
26	1886	5	21	集録	英人エドキンスジョセフ氏道教を關するの說	本多澄雲	55	
26	1886	5	21	本会記事	同報告	著者名なし	58	
26	1886	5	21		25号正誤表		64	21頁、31頁、37頁、59頁、60頁、61頁
26	1886	5	21	広告			65	
27	1886	6	21		事進取させれば必退却を免れず(接前)	嶋地黙雷	1	黙が旧字体
27	1886	6	21	講義	印度紙葉考(接前)	著者名なし	10	南條文雄?
27	1886	6	21	講義	哲学要領(接前)	著者名なし	20	井上甫水?
27	1886	6	21	論説	功名の説	如酔愚士	26	
27	1886	6	21	論説	教学併進和議	菅原燭城	29	雑誌内題名「教学併進私議」
27	1886	6	21	雑報	教海波瀾外十二件	著者名なし	32	「教海波瀾」(F.n.生報)「新法主入学」「キチン氏」「古きと新き」(本年五月二十二日インデペンデント抄訳)「朝鮮の伝教」(六月一日読売新聞)「上海教会」(本年五月十五日大谷派本山報告)「仏国宣教師の掛合」(本年五月二十八日毎日新聞)「海外留學生」(対岸の火災か)「仏書英訳」(西洋の礼式)「五月十五日インデペンデント抄訳」(東洋学士会議)
27	1886	6	21	詩文	航西詩稿序	小栗栖香頂	52	文末著者名
27	1886	6	21	詩文	祐専寺鐘銘並序	嶋地黙雷選	55	文末著者名
27	1886	6	21	詩文	送痴龍上人序	北条祐賢	56	
27	1886	6	21	詩文	隠居作	福田行誠	57	
27	1886	6	21	詩文	次行誠和上隠居韻以呈	石村貞一	58	
27	1886	6	21	詩文	題名なし	石村貞一	58	
27	1886	6	21	詩文	題名なし	松田龍堂	58	
27	1886	6	21	詩文	偶成	石村桐陰	59	
27	1886	6	21	集録	集録三項	福田行誠 南條文雄	59	
27	1886	6	21	本会記事	本会記事及報告	著者名なし	64	
28	1886	7	21		誰か此一大活動を演ずる	嶋地黙雷	1	嶋地黙雷
28	1886	7	21	講義	印度紙葉考(接前)	南條文雄	7	雑誌内著者名なし
28	1886	7	21	講義	唯識小階(接前)	北条祐賢	19	
28	1886	7	21	論説	支那各港宗教の形況を見て感あり	石村貞一	25	
28	1886	7	21	論説	偶感一則	雄山君龍	29	
28	1886	7	21	雑報	教海波瀾外八件	著者名なし	38	「教海波瀾」華嚴経再興「二世の教育」「壺ノ漸苑」「中村敬字翁」「宣哉外教の盛」「哲学一タ話」「宗教新聞論説」「新法主入学」
28	1886	7	21	詩文	畫北沢大濶人伝後	嶋地黙雷	57	文末「入竺真宗沙門黙雷拜稿」
28	1886	7	21	詩文	贈入江石泉居士	石村桐陰	58	
28	1886	7	21	詩文	送日下法契棉郷	飽藤逸人	58	
28	1886	7	21	詩文	琉球八重山島傳成	垣田東鳩	58	
28	1886	7	21	詩文	藤沢駅訪藤房郷遺跡見其遺書慨然有作	浅井茅海	59	
28	1886	7	21	詩文	偶成	山室方幾	59	
28	1886	7	21	詩文	偶感	中村敬字	59	
28	1886	7	21	集録	英人エドキンス、ジョセフ氏道教を關するの說(接前)	著者名なし	59	本多澄雲?
28	1886	7	21	本会記事	本会記事	著者名なし	64	
28	1886	7	21	報告	報告	著者名なし	64	
29	1886	8	21		弘教伝導の方法如何	無声逸史	1	持主兼印刷人: 福沢重香 編集人: 平松理賢 発行所: 令知会ノ東京麹町区上六番町四番地
29	1886	8	21	講義	印度紙葉考(接前)	南條文雄	11	

29	1886	8	21	講義	哲学要領(接前)	著者名なし	23	井上甫水?
29	1886	8	21	論説	監獄布教方私案	瘦松学人	33	
29	1886	8	21	論説	本末を明にすへし	小笠原祐英	38	
29	1886	8	21	雑報	教海波瀾外十二件	著者名なし	40	「教海波瀾」南條副会長「華嚴の信者」「かくありてこそ」書籍出版「東京教校」「婦敬式と洗礼」「本多澄雲氏」「島地副会長」「仙台の耶穌教学校」「府下の監獄説教」「新開の論説」
29	1886	8	21	詩文	釈教文粹序	中村正直選	57	
29	1886	8	21	詩文	止人帰故山	石村桐陰	59	
29	1886	8	21	詩文	仏滅日雨中所感	初九淵	59	
29	1886	8	21	詩文	筑波山	浅井茅海	59	
29	1886	8	21	詩文	土浦塗上望霞湖	著者名なし	60	
29	1886	8	21	詩文	秋夜	墨鷄逸納	60	
29	1886	8	21	詩文	胡子花	南園老人	60	
29	1886	8	21	集録	桐陰叢語	石村貞一	61	
29	1886	8	21	本会記事	本会記事	著者名なし	62	
29	1886	8	21	報告	報告	著者名なし	63	
30	1886	9	21		仏教門中最も速に改良すべきものあり	吉谷覺寿	1	
30	1886	9	21	講義	支那見今十宗概略	北方心泉	9	雑誌内題名「支那見今十宗概略附言」
30	1886	9	21	講義	唯識小指(接前)	北条祐賢	22	著者名雑誌内になし
30	1886	9	21	論説	生前に法名を授けずして葬式を為す可らず	桐陰居士	27	
30	1886	9	21	論説	僧家の子弟必ずしも僧たることを期す可らず	多田賢順	32	
30	1886	9	21	雑報	教海波瀾外拾件	著者名なし	40	「教海波瀾」南條副会長「服制改革論」「後車再覆」「釈興然氏」「虎烈烈の論」「仏耶合体論」「出版書籍」「予約出版」
30	1886	9	21	詩文	題弘法大師書心経	中村敬宇	55	
30	1886	9	21	詩文	贈南條二等学師二首	渡邊徹堂	56	
30	1886	9	21	詩文	豊田川舟遊書感	平百痴居士	56	
30	1886	9	21	詩文	六堂垂児碧行之韻讀白川琴水女史並引	南條文雄	56	
30	1886	9	21	詩文	辞世三首	北沢伊勢子	60	
30	1886	9	21	詩文	北沢伊勢子刀自の形みの読み歌にかまけて	山田鶴子	60	
30	1886	9	21	詩文	北沢老母君の身まかられしをいたみ奉りて	野村妙教	60	
30	1886	9	21	集録	仏教論評第二(レバナー氏人智啓発論節訳)	醉田居士	61	
30	1886	9	21	本会記事	本会記事	著者名なし	64	
31	1886	10	21		酒誡贅語	鳴地黙雷	1	島地黙雷稿
31	1886	10	21	講義	先人為主監獄教題第八	島地黙雷	8	
31	1886	10	21	講義	三思弁	多田賢順筆記	13	雑誌内題名「某和尚講弁」
31	1886	10	21	講義	仏教論評第二(接前)	醉田居士	19	
31	1886	10	21	論説	我党の覚悟	遜堂逸史	24	遜堂逸史稿
31	1886	10	21	論説	宗教の生起	金浦正弘	32	金浦正弘稿
31	1886	10	21	雑報	教海波瀾外九件	著者名なし	38	「教海波瀾」青年信徒「免囚保護会社」「監獄教論」「石川舜台氏」「米国留学」「結婚条例」「請願書却下」「西洋婦人の剛毅」「自警会」
31	1886	10	21	雑報	詩文和歌		47	
31	1886	10	21	詩文	髮續無量寿仏極楽国図幅	雪堂居士 廣瀬進一 拜題	47	
31	1886	10	21	詩文	井沢了全師築高樓名円明庵折簡需詩賦一絶以贈	同	51	
31	1886	10	21	詩文	信州諏訪湖見倒富士	加藤慧証	51	
31	1886	10	21	詩文	熱海八景	南條碩果	51	
31	1886	10	21	詩文	明治十八年八月上流車駕臨幸于山口広島岡山之三県恭賦短律志喜併以献芹	杞狂生	52	
31	1886	10	21	詩文	聖駕臨降于我広島県庁及厳島神祠謹献野韻	同	52	
31	1886	10	21	詩文	蟹山月	福田行誠	53	
31	1886	10	21	詩文	蟹山月	山室方幾	53	
31	1886	10	21	集録	仏教国現況	著者名なし	53	雑誌内題名「支那 仏教国の現況第七(第十六号続)」
31	1886	10	21	集録	行智阿闍梨の小伝		58	
31	1886	10	21	集録	桐陰叢語	桐陰居士	59	
31	1886	10	21		本会記事及報告	著者名なし	63	
32	1886	11	21		梵語文法の一斑を記して教門文学の人に告ぐ	南條文雄	1	
32	1886	11	21	講録	俱舍宗大意	佐伯旭雅	9	雑誌内著者名「洛陽比丘旭雅稿」
32	1886	11	21	講録	希臘哲学々派一斑	学非齋主人	19	
32	1886	11	21	論説	道德の標準	天野為之	27	
32	1886	11	21	論説	宗教の生起 其二	金浦正弘	48	
32	1886	11	21	雑報			48	「国教論」「清水梁山氏」「新誌及雑誌」「合羽可庵」「大谷派宗制寺法」「窪田常吉氏」「貴族婦人会」「女学校の必用」「新法主洋行」「梵文法華経」「支那の清信士」「支那政府洋教信徒の考試及第任官等を准す」「出版書籍」「教海波瀾」「日本仏教各宗大意」
32	1886	11	21	詩文	題円明菴	南條碩果	59	
32	1886	11	21	詩文	翻迷老人携髮續浄土図会訪吾庸索詩時成嶋柳北在座同觀之爾後在再未有詩句供仏今秋老人再訪屈指正五年柳北已為隔世之人矣感情不能止賦長詩二十四韻	鈴木掬翠	62	
32	1886	11	21	雑報	質問 二件	南塘生	63	
32	1886	11	21	雑報	會員 寄書	梅田君蔵	64	
32	1886	11	21	雑報	本会記事	著者名なし	65	
32	1886	11	21	雑報	本会報告	著者名なし	65	
32	1886	11	21		正誤表	著者名なし	66	31号53頁58頁
33	1886	12	21		仏教門中最も速に改良すべきものあり第二	吉谷覺寿	1	
33	1886	12	21	講録	俱舍宗大意(接前)	佐伯旭雅	11	
33	1886	12	21	講録	仏教の眞理	南條文雄	22	
33	1886	12	21	論説	月答金減額に付て諸君の注意を乞ふ	平松理英	27	
33	1886	12	21	論説	監獄布教方私案	瘦松学人	31	29号の続き
33	1886	12	21	雑報	教海波瀾外七件	著者名なし	37	「興然氏の消息」「貴婦人法話会」「山中無曆日」「党漸死矣」「三代之礼楽」「勸善会」「教海波瀾」「教諭師手当金」
33	1886	12	21	詩歌	秋暁	北条祐存	54	
33	1886	12	21	詩歌	謝某紳士見訪	同	54	
33	1886	12	21	詩歌	汽車発新宿赴橋川	東坪生	55	
33	1886	12	21	詩歌	残菊早梅図	清瘦学人	55	
33	1886	12	21	詩歌	乙酉初冬宿今津善性寺所見次官了法韻	「木巳」杞?狂生	55	
33	1886	12	21	詩歌	冬月	行誠人	55	
33	1886	12	21	詩歌	冬月	南園老納	55	
33	1886	12	21	詩歌	常盤		56	
33	1886	12	21	詩歌	静		56	
33	1886	12	21	詩歌	巴		56	
33	1886	12	21	詩歌	蔵眷人事	蓮月尼	56	
33	1886	12	21	質問応答			56	井上教隆、H.S.生 返答鼎木笠堂
33	1886	12	21	集録	桐陰叢語	桐陰居士	58	
33	1886	12	21	集録	本会記事	著者名なし	63	
33	1886	12	21	集録	本会報告	著者名なし	63	
34	1887	1	21		明治二十年は如何なる年ぞ	平松理英	1	平松理英稿
34	1887	1	21	講録	耶穌教非理の一斑	沢井洵	16	雑誌内著者名なし
34	1887	1	21	講録	俱舍宗大意(接前)	洛陽比丘旭雅	15	佐伯旭雅?
34	1887	1	21	講録	仏教論評第二(第三十一号の続)	醉田居士	21	
34	1887	1	21	論説	学校設立策	石村貞一	26	
34	1887	1	21	論説	監獄布教方私案(前号の続き)	瘦松学人	31	

34	1887	1	21	雑報	南條文雄師渡天并教海波瀾外十一件	著者名なし	35	「南條文雄師渡天」「寺院家屋税」「浄土宗紛議」「貴珍の什宝」「入江良輔氏」「鳥尾得庵居士は」「浅猿き哉」「海員の熱心」「各宗協同大学校設立」「老僧の考案」「大谷派の新聞」「国教及神祇官」「監獄教諭」「教海波瀾」
34	1887	1	21	詩文	丁亥元旦	福田行誠	47	
34	1887	1	21	詩文	次福田和上韻	石村貞一	48	
34	1887	1	21	詩文	題髪繡浄工曼陀羅図	羽田尊盟	48	
34	1887	1	21	詩文	初春偶成	北条祐存	48	
34	1887	1	21	詩文	初春書感	東坪生	48	
34	1887	1	21	詩文	觀役小角像	鈴木天遊	49	
34	1887	1	21	詩文	校訂縮刻大蔵経縁起	白修徹士島田 善根選	49	
34	1887	1	21	質問応答			54	赤松円純郵寄
34	1887	1	21	集録	肉食僧	平松理英	59	平松理英稿
34	1887	1	21	集録	本会記事	著者名なし	61	
					正誤表		61	33号54頁、64頁
34	1887	1	21	集録	本会報告	著者名なし	61	
35	1887	2	21	講録	巡遊見聞概記	島地黙雷	1	
35	1887	2	21	講録	嚴防誘惑	島地黙雷	8	監獄教諭第九 雑誌内著者名「島地黙雷」
35	1887	2	21	講録	仏教論評第二(接前)	醉田居士	13	
35	1887	2	21	講録	四種道理之弁	辻田証	17	
35	1887	2	21	論説	教学を一途にすべし	無所得子	22	
35	1887	2	21	論説	監獄布教法私案(前号の続き)	瘦松学人	27	
35	1887	2	21	雑報	印度来翰外十二件	著者名なし	31	「印度来翰」「宣教師の熱心」「婦人謝徳会」「朝鮮の仏教」(井上角五郎)「肉食排斥会の祝宴」「紳士の評」「米国の仏教」(官報)「積徳教校開業式」(羽田尊盟)「教海波瀾」(翁羅絡主義の説教あれども)「龍山雷音氏報」「兵庫県播州報知」(温知齋主人報)「越中国上下新川郡近況」「法苑珠林の再版」
35	1887	2	21	詩歌	送南條碩果之印度有感作歌	宮原白石	52	
35	1887	2	21	詩歌	拜 上宮王子磯長廟	宮原白石	55	
35	1887	2	21	詩歌	小田原駅過広井氏書感	著者名なし	55	
35	1887	2	21	詩歌	雪中越菓子嶺口占	雨田逸史	55	
35	1887	2	21	詩歌	有耶無耶聞即事羽前	著者名なし	55	
35	1887	2	21	詩歌	家湯所見羽後	著者名なし	56	
35	1887	2	21	詩歌	題馬山陣図	引田利章	56	
35	1887	2	21	詩歌	又	河野通之	56	
35	1887	2	21	詩歌	又	石邸貞一	56	
35	1887	2	21	詩歌	令知會の新年宴會に	土岐美静	57	
35	1887	2	21	詩歌	雪の日菓子嶺にて	島地黙雷	57	
35	1887	2	21	詩歌	春雨	釈密乘	57	
35	1887	2	21	詩歌	質問応答		57	S.H.生、B.S.居士
35	1887	2	21	質問応答	本会記事	著者名なし	59	
35	1887	2	21	質問応答	本会報告	著者名なし	59	
					正誤表	著者名なし	61	34号2頁、5頁、18頁35頁、43頁、46頁、48頁、55頁、57頁、59頁60頁、63頁。
36	1887	3	21	講録	知足安分と進取力行との交際	島地黙雷	1	雑誌内「雨田道人」
36	1887	3	21	講録	四種道理之弁	辻田証	9	
36	1887	3	21	講録	仏教論評第三(接前)	醉田居士	13	
36	1887	3	21	講録	迷悟の四句	雲溪居士	19	
36	1887	3	21	講録	朝鮮釋教考	朴永善	25	雑誌内「漢陽 朴永善 編」
36	1887	3	21	論説	友人某の欧州に航遊するを送るの文	懸轍道人	29	
36	1887	3	21	論説	感する所を述べて地方会員諸兄に質す	平松理賢	34	
36	1887	3	21	雑報	教海波瀾外十二件		37	「ビゲロー氏」「敵国の間諜」「法主巡化」「外教徒の熱心」「亞富汗斯坦の宗教」(亞富汗地誌抄出)「加特力教職教」(二月二日官報抄出)「開智社の目的」「僧類問答」「教校の移転」「他山の石」「説経者の失敗」「教海波瀾」
36	1887	3	21	詩文	明治二十年一月一日即事	南條文雄	48	
36	1887	3	21	詩文	与大谷勝道君別(一月十一日)	著者名なし	49	
36	1887	3	21	詩文	発横濱(一月十二日)	著者名なし	49	
36	1887	3	21	詩文	達神戸(一月十三日)	著者名なし	49	
36	1887	3	21	詩文	発神戸(一月十四日)	著者名なし	49	
36	1887	3	21	詩文	舟中(一月十九日)	著者名なし	49	
36	1887	3	21	詩文	田圃入寓于静岡室台寺素画未成戯賦贈之	宮原白石	50	
36	1887	3	21	詩文	白糸瀧所見羽前	雨田逸史	50	
36	1887	3	21	詩文	竹虎楼宴會席上口占秋田	著者名なし	50	
36	1887	3	21	詩文	前沢途中陸中	著者目なし	51	
36	1887	3	21	詩文	勸道編其一	靖洲道人	51	
36	1887	3	21	詩文	偶感	梅原謙	51	
36	1887	3	21	詩文	春日田家	平塚鶴堂	51	
36	1887	3	21	詩文	實積徳教校開校表	北条祐賢	52	
36	1887	3	21	質問応答	真如无明の答		55	辻田証、桐陰居士石村貞一
				集録	本源寺の古跡附存如上人の墳墓	山室方幾	60	目次になし
				集録	桐陰叢語	石村貞一	61	目次になし
36	1887	3	21	集録	本会記事	著者目なし	62	
36	1887	3	21	集録	本会報告	著者目なし	63	
37	1887	4	21	詩文	仏教を疎漏視することなかれ	吉谷覺壽	65	ページ数が前号の続きから
37	1887	4	21	詩文	答「字生問	島地黙雷	71	明教新誌本年四月十八日寄書 雑誌内「嶋地黙雷」
37	1887	4	21	講録	如來蔵縁起新論	雲溪居士	76	
37	1887	4	21	講録	仏教論評第二(完結)	醉田居士	84	
37	1887	4	21	論説	談内務省訓令第二十一号	平松理英	91	
37	1887	4	21	論説	井上君か仏教活論序論を読む	活田老人	97	
37	1887	4	21	雑報	教海波瀾外十三件		101	「外人の真宗信徒」「南條師の消息」「法主学生を優待す」「開智社演説」「英学研究会」「頑如石」「山実弁師」「仏教活論序論」「英文の動章」「不招而來」「出版の心得」「狼狽と失敗」「沢田了氏」「教海波瀾」
37	1887	4	21	詩歌	從印度歸。到支那上海詠宮原白石居士送予之印度歌。因次其韻却寄懷。明治二十年。三月念九	南條文雄	113	
37	1887	4	21	詩歌	送碩果南條師之印度	錦洞生	116	
37	1887	4	21	詩歌	勸道編其二	靖洲道人	116	
37	1887	4	21	詩歌	白蓮會員石村氏をおくる	大谷公尊	117	
37	1887	4	21	詩歌	觀世音のうたに	福田行誠	117	
37	1887	4	21	詩歌	二河白道	著者目なし	117	
37	1887	4	21	質問応答	真如無明など		117	如幻子、三英生
37	1887	4	21	集録	暹羅国仏教形状一斑	中六道人	119	
37	1887	4	21	集録	本会記事	著者目なし	124	
37	1887	4	21	集録	本会報告	著者目なし	125	
38	1887	5	21	講義	仏教の大勢を論ず	生田得能	127	
38	1887	5	21	講義	如來蔵縁起新論(接前)	著者名なし	135	雲溪居士?
38	1887	5	21	講義	靈魂の論争	天外道人	139	ドレーバー氏宗教学術論史抄訳
38	1887	5	21	論説	教学の別を論ず	活田老人	151	
38	1887	5	21	論説	感する所を述べて地方会員諸兄に質す	平松理賢	158	36号の続き
38	1887	5	21	雑報	南條師帰外十二件		162	「南條文雄師帰朝」「米国の和服会」「豈計らんや」「催眠治病法」(報知新聞五月十五日)「豈夫然らんや」「慈愍小学校」「米國議員の宗旨」(本年四月二十七日時事新報)「難檀党の団結」「一事三見」「島地副会長」「本邦基督教の統計」「奮ふて伝道金を投つ」「教海波瀾」
38	1887	5	21	詩歌	達香港 一月二十日	南條文雄	175	36号の続き

38	1887	5	21	詩歌	在香港泊香港旅館一月二十一日	南條文雄	175	
38	1887	5	21	詩歌	同一月二十二日	南條文雄	175	
38	1887	5	21	詩歌	同二十三日此日陰曆除日而陽曆日曜日	南條文雄	176	
38	1887	5	21	詩歌	發香港一月十四日乘逸船熱加爾号	南條文雄	176	
38	1887	5	21	詩歌	舟中一月二十五日	南條文雄	176	
38	1887	5	21	詩歌	同上一月二十六日	南條文雄	177	
38	1887	5	21	詩歌	同上一月二十七日	南條文雄	177	
38	1887	5	21	詩歌	同上一月二十八日晡時始見一鳥	南條文雄	177	
38	1887	5	21	詩歌	達新嘉坡二十九日	南條文雄	178	
38	1887	5	21	詩歌	發新嘉坡三十日	南條文雄	178	
38	1887	5	21	詩歌	船中三十一日	南條文雄	178	
38	1887	5	21	詩歌	同上二月一日	南條文雄	179	
38	1887	5	21	詩歌	同上二日	南條文雄	179	
38	1887	5	21	詩歌	同上三日	南條文雄	179	
38	1887	5	21	詩歌	達錫蘭哥倫坡与乃木川上野田楠瀬生田二条多湖 多納玉野九友別四日	南條文雄	180	
38	1887	5	21	詩歌	在錫蘭泊大東館与青木鈴木高山三友別	南條文雄	180	
38	1887	5	21	詩歌	發錫蘭乘法国船知武爾号六日	南條文雄	180	
38	1887	5	21	詩歌	舟中七日	南條文雄	181	
38	1887	5	21	詩歌	同上此夜達南印度本泥查利此言新村港八日	南條文雄	181	
38	1887	5	21	詩歌	發本泥查利港九日	南條文雄	181	
38	1887	5	21	詩歌	達麻士羅斯港同日發港十日	南條文雄	181	
38	1887	5	21	詩歌	舟中十一日	南條文雄	182	
38	1887	5	21	詩歌	同上十二日	南條文雄	182	
38	1887	5	21	詩歌	達印度甲谷他府十三日	南條文雄	182	文末「五十七翁蓮船批」
38	1887	5	21	詩歌	待時鳥	南條文雄	183	
38	1887	5	21	詩歌	山家の時鳥	南條文雄	183	
38	1887	5	21	詩歌	古寺時鳥	南條文雄	183	
38	1887	5	21	詩歌	馬上時鳥	南條文雄	183	
38	1887	5	21	詩歌	時鳥帰山	南條文雄	183	
38	1887	5	21	質問応答	質問応答	南條文雄	183	如幻子
38	1887	5	21	集録	古梓考	桐蔭居士	184	
38	1887	5	21	集録	本会記事		189	
38	1887	5	21	集録	本会報告		190	
39	1887	6	21	講録	終身護法の念を處すへからず	吉谷覺寿	191	
39	1887	6	21	講録	四食の説	村上專精	196	
39	1887	6	21	講録	三世因果の弁	多田賢住	206	
39	1887	6	21	講録	變遷論大意	遜堂逸史	209	遜堂逸史記
39	1887	6	21	論説	宗教の生起其三	金浦正弘	217	32号の続き
39	1887	6	21	論説	教家の注意	活田老人	222	
39	1887	6	21	雜報	教海波瀾外十一件		229	「副会長帰京」「南條文雄師」「東洋哲学会」「仏教講談会」「報知社と天主教師」「女学校の比較」「普教会と積善会」「仏教会」「成立学会」「護法策」「法施財施」「精農情農」「念仏菴」「教海波瀾」
39	1887	6	21	詩歌	觀法泉寺宝法物引為鷲本明教師作	宮原木石	245	
39	1887	6	21	詩歌	題円明菴	相馬崇禪	248	
39	1887	6	21	詩歌	同	日野靈瑞	248	
39	1887	6	21	詩歌	更衣	高岡増隆	248	
39	1887	6	21	詩歌	題しらす	福田行誠	248	
39	1887	6	21	詩歌	信州に詣ける日御仏によみて奉る	著者名なし	249	
39	1887	6	21	詩歌	三聖のかたに	著者名なし	249	
39	1887	6	21	集録	質問応答(接前)		249	如幻子
39	1887	6	21	集録	古梓考	著者名なし	251	
39	1887	6	21	集録	学窓小言	梅田止水	254	雑誌内著者名「梅田止水子」
39	1887	6	21	本会記事			255	
39	1887	6	21	本会報告			255	
40	1887	7	21	講義	修性二徳の説	島地黙雷	257	
40	1887	7	21	講義	如来蔵縁起新論(接前)	雲溪居士	263	
40	1887	7	21	講義	變遷論大意(同)	遜堂逸史	272	
40	1887	7	21	講義	迷悟の四句(同)	雲溪居士	278	
40	1887	7	21	論説	談奥論新誌(三十七号の続き)	平松理英	285	雑誌内「二十二号の続き」
40	1887	7	21	論説	仏教者に一言す	声振居士	292	
40	1887	7	21	雜報	教海波瀾外十三件		297	「女人講御消息(敬子)」「本会の名誉員」「米国通信符に開けん」とす」「哲学館」「仏教講談会」「貧民学校」「揮哲会」「正教の大説教」「反省会雑誌」「哲学会の討論」「学生求法」「強信と強信」「教学策進」「教海波瀾」
40	1887	7	21	詩歌	寄題三位品川君塩原別墅念仏庵庵中祀有功干 農工者之靈云故及之	廣瀬瀨一	314	
40	1887	7	21	詩歌	衆生無邊誓願度	土岐善静	316	
40	1887	7	21	詩歌	蘆橋	釈涌蓮	317	
40	1887	7	21	詩歌	郭公逼	著者名なし	317	
40	1887	7	21	質問応答	質問応答		318	三木智浄
40	1887	7	21	集録	桐蔭叢語	桐蔭居士	318	
40	1887	7	21	本会記事		著者名なし	320	
40	1887	7	21	本会報告		著者名なし	320	
41	1887	8	21	講録	解行兩徳説	生田徳能	321	生田徳能
41	1887	8	21	講録	如来蔵縁起新論(接前)	雲溪居士	330	
41	1887	8	21	講録	疫癘章解	嶋地黙雷	337	雑誌内 雨田道人
41	1887	8	21	講録	變遷論大意(接前)	遜堂逸史	341	
41	1887	8	21	論説	教家の予想	金浦正弘	347	
41	1887	8	21	論説	談奥論新誌	平松理英	352	
41	1887	8	21	雜報	教海波瀾外十二件		359	「学生の遺稿」「奥論新誌と羅馬字雑誌」「南條文雄師」「高等普通学校」「貧民教育」「清国上海大谷派別院免税」「大谷派法孫」「日本仏教史」「石村寅枝子」「花頂山 老衲行誠合掌」「同子の略伝」「日蝕観測」「錫蘭僧」「教海波瀾」
41	1887	8	22	詩歌	過那須野開墾「土傷のつくり」有感	雨田逸史	371	
41	1887	8	23	詩歌	蓮花	著者名なし	371	
41	1887	8	24	詩歌	有感	行誠老衲	372	
41	1887	8	24	詩歌	寅枝子を悼みて	美寿子	372	
41	1887	8	25	詩歌	同	得子	372	
41	1887	8	21	質問応答	幽霊について他		373	志「土傷のつくり」了般、友文布衣
41	1887	8	21	集録	古梓考(接前)	石村貞一	374	
41	1887	8	21	集録	淫具を祭る話	懸鼓道人	377	
41	1887	8	21	本会記事		著者名なし	381	
41	1887	8	21	本会報告		著者名なし	382	
42	1887	9	21	講録	仏教門中最も速に改良すべき者あり	吉谷覺寿	383	
42	1887	9	21	講録	亜古德斯科異教の残遺	ロウソエフ原著 新甫山僧訳	392	
42	1887	9	21	講録	如来蔵縁起新論(接前)	雲溪居士	400	
42	1887	9	21	論説	真理を妄用する勿れ	生田徳能	408	
42	1887	9	21	論説	仏教者一に言す(四十号続)		415	
42	1887	9	21	雜報	教海波瀾外十五件		419	「大谷教校」「寺は酒屋(九月五日時事新報)」「哲学館開館式」「僧侶の往生」「論より証拠」「貴婦人と豪商」「高等普通学校」「南條文雄師」「龍驤艦」「某老婆の話」「日下痴龍氏」「石寅枝子逸事」「蝦夷人帰敬式を愛く」「琉球人」「朝鮮元山津別院在勤」
42	1887	9	21	詩歌	送某生	清瘦学人	433	
42	1887	9	21	詩歌	秋夜即事	著者名なし	433	
42	1887	9	21	詩歌	信濃川舟中作	小栗布岳	433	

42	1887	9	21	詩歌	似自由党员某	著者名なし	434	
42	1887	9	21	詩歌	偶成	砲座学人	434	
42	1887	9	21	詩歌	南都懐古	松陵道人	434	
42	1887	9	21	詩歌	発大秋賦	著者名なし	434	
42	1887	9	21	詩歌	無題	一六居士	435	
42	1887	9	21	詩歌	薄	松岡くほ子	435	
42	1887	9	21	詩歌	月前薄	芳賀玄亮	435	
42	1887	9	21	詩歌	月前露	香山雜菴	435	
42	1887	9	21	詩歌	垣菽	本多義天	435	
42	1887	9	21	詩歌	秋述懐	香山雜菴	435	
42	1887	9	21	質問応答			436	吾愛知者寄、
42	1887	9	21	集録	淫具を祭る話(接前)	懸鼓道人	438	
42	1887	9	21	寄書	書籍館の必用	小笠原祐英稿	441	
42	1887	9	21	本会記事			443	
42	1887	9	21	本会報告			444	
43	1887	10	21		如何なるか是真理	島地黙雷	445	
43	1887	10	21	講録	如来蔵縁起新論(接前)	雲溪居士	454	
43	1887	10	21	講録	垂古徳斯科異教の残遺(接前)	新甫山僧訳	462	
43	1887	10	21	論説	読奥論新誌(前号の続き)	平松理英	472	
43	1887	10	21	論説	読仏教興廢論	生田得能	477	
43	1887	10	21	雑報	教海波瀾外十六件		485	「九鬼公使の談話」「開善小学」「留学生」「無学の名士」「哲学館」 「大谷派新法主」「世は様々」「耶穌教と国事犯」「フェテロサ氏」 「桑港通信」「皆既観測」「相良吉次氏」「仏法は下等の宗教なり」 「社士の仲間か」「南條文雄氏」「反省会」「教海波瀾」
43	1887	10	21	詩歌	岡鹿門来訪以所著尊攘紀事併觀光紀遊見贈賦此 答謝	宮原木石	498	
43	1887	10	21	詩歌	再贈鹿門二首	著者名なし	498	
43	1887	10	21	詩歌	扇港竹枝	牧野詩城	499	
43	1887	10	21	詩歌	大石良雄	雙清逸人	499	
43	1887	10	21	詩歌	東明寺覽古寺在豆州	平塚鶴堂	500	
43	1887	10	21	詩歌	偶感	著者名なし	500	
43	1887	10	21	詩歌	聞佐野常世事	南摩綱紀	500	
43	1887	10	21	詩歌	訪佐野卿賦贈	著者名なし	500	
43	1887	10	21	詩歌	蘭	石村貞一	501	
43	1887	10	21	詩歌	題しらす	福田行誼	501	
43	1887	10	21	詩歌	橋正成卿	毛利元徳	501	
43	1887	10	21	詩歌	南無阿弥陀仏の字を頭におきてよめる歌	赤松珉子 七十八才	501	
43	1887	10	21	質問			502	安分堂主人(質問者)
43	1887	10	21	集録	護法賢聖伝編序	石村貞一	503	
43	1887	10	21	集録	仏教国の現況	著者名なし	506	雑誌内題名「朝鮮仏教国の現況第六」
43	1887	10	21	本会記事		著者名なし	507	
43	1887	10	21	本会報告		著者名なし	508	
44	1887	11	21		護法とは何の法を護るや	生田雲溪	509	
44	1887	11	21	講録	使用善悪 監獄教題第十	島地黙雷	515	
44	1887	11	21	講録	靈魂の論争(三十八号の続き)	天外道人	521	
44	1887	11	21	講録	万物の本休	活田老人	529	
44	1887	11	21	論説	出処を脩くすべし	恬々道人稿	533	
44	1887	11	21	論説	改正私見	無声隠士	541	
44	1887	11	21	雑報			549	「積善会」「大派新法主」「貴婦人会の拡張」「施療院開設」「兵營 布教」「猪磨金山」「小栗栖香頂師」「島地副会長」「火葬者」「東洋 学芸雑誌」「教海波瀾」
44	1887	11	21	詩歌	正親大宣師碑文	島地黙雷	557	
44	1887	11	21	詩歌	宿山金山寺聞仏法僧鳥三首	易行院老師	558	
44	1887	11	21	詩歌	題一河嶮岡	香樹院老師	559	
44	1887	11	21	詩歌	題柏原玄弘翁画像屋山国手囁	木石居士	559	
44	1887	11	21	詩歌	読仏国革命史三首	風鶴逸史	560	
44	1887	11	21	詩歌	晚秋即事	清瘦学人	560	
44	1887	11	21	詩歌	画題二首	著者名なし	560	
44	1887	11	21	質問応答	人種の問、寿命長短の問		561	黙庵居士、新甫山僧答案、浦松誠実
44	1887	11	21	集録	勅額の外二件	箕山居士	562	
44	1887	11	21	本会記事		著者名なし	572	
44	1887	11	21	本会報告		著者名なし	572	
45	1887	12	21		護法の実策如何	吉谷覺寿	575	
45	1887	12	21	講録	如来蔵縁起新論	雲溪居士	583	
45	1887	12	21	講録	生滅無常 監獄教題第十一	島地黙雷	591	
45	1887	12	21	講録	阿彌達池四大水考	活田老人	597	
45	1887	12	21	講録	垂古徳斯科異教の残遺(接前)	新甫山僧訳	602	
45	1887	12	21	論説	仏教は哲学なるか得た宗教なるか	村上專稿	607	
45	1887	12	21	論説	改正私見(前号の続き)	無声隠士	614	
45	1887	12	21	論説	品行論	前波小帆	620	
45	1887	12	21	論説	感晩感を書して會員諸君に告ぐ	生田得能	623	
45	1887	12	21	雑報	ユニテリアン宣教師外七件		630	「ユニテリアン宣教師」「印度哲学小史」「横浜信徒の奮発」「栗田 与三氏の訃音」「吉谷石村両氏」「耶穌教師の演説」「仏教之前 途」「阪上山田両氏」
45	1887	12	21	詩文	明善寺鐘銘並序	雨田逸史	633	
45	1887	12	21	詩文	安南洋中作	筆邱漫客	634	
45	1887	12	21	詩文	香山高	著者名なし	635	
45	1887	12	21	詩文	九月二日味爽発京都赴奈良途上	鈴木天游	635	
45	1887	12	21	詩文	従奈良赴宇途上	著者名なし	636	
45	1887	12	21	質問	阿弥陀如来及び他力の問、草木国土悉皆成仏など		636	安分堂主人、無外子
45	1887	12	21	本会記事			637	
45	1887	12	21	本会報告			638	
46	1888	1	21		新年感を書して会友諸君に告ぐ	島地黙雷	1	持主兼印刷人:福沢重香 編集人:生田得能 発行所:令知会/東京麹町区上六番町四番地
46	1888	1	21	講録	如来蔵縁起新論(接前)	雲溪居士	8	
46	1888	1	21	講録	課余摘萃第一 チャーレス、ダルブ井ン氏の進化論の価値(逸 人ヘッケル氏著創造史より抄出)	愛操仙士	16	
46	1888	1	21	講録	永世不変第十二 監獄教題三十条之一	島地黙雷	23	
46	1888	1	21	論説	仏法興起論	河合清丸稿	27	
46	1888	1	21	論説	宗教果して改良すべからざる歟	佐々木柳堂	38	
46	1888	1	21	雑報	水谷仁海氏外五件		49	「水谷仁海氏」「オルコットの書東」「高等普通学校」「警視總監 の謝辞」「述見女学校」「各宗の建議」
46	1888	1	21	詩文	除夜即事	工藤樹翠	57	
46	1888	1	21	詩文	元旦即事本年官初用標準時。半夜以号砲報之。 軋結故及。	雨田逸史	57	
46	1888	1	21	詩文	与井上文学士書	佐々木狂介	57	
46	1888	1	21	質問	草木国土悉皆仏の答、曾婆羅頻陀羅地獄の答		63	活田老人、東耀、最正、林梵了
46	1888	1	21	本会記事			64	
46	1888	1	21	本会報告			64	
47	1888	2	21		男女関係論	雨田道人	65	
47	1888	2	21	講録	一乗戒一斑	雲溪居士	77	
47	1888	2	21	講録	靈魂の論争(接前)	天外道人	85	
47	1888	2	21	講録	善悪一念 監獄教題第三十	島地黙雷	93	雑誌内「監獄教題第十三」
47	1888	2	21	論説	無宗教も亦一種の宗教なるを論ず	井上門了	98	
47	1888	2	21	論説	仏教道徳新論	村上專稿	105	
47	1888	2	21	論説	対話一則	前波小帆	114	

47	1888	2	21	雑報	島地寺田平松三氏暹羅大使を訪問外七件		116	「島地寺田平松三氏暹羅大使を訪問す」愛知大谷派別院内に新築する普通教校は「本派本願寺より出張の監獄教師藤後藤誠諦氏は「広島県大島監獄より教師大河内長氏へ左の書を寄せられたり」或人の話に此頃某々居士か肉食妻帯を真宗の専有物とか」「平松理賢氏の仏門立志暹は」「日下部鳴鶴氏」「清使大谷派本山を訪ふ」
47	1888	2	21	詩歌	鎌倉吊親王護良廟詩並引	小栗栖香頂	119	
47	1888	2	21	詩歌	題仏門立志編詩並引	小栗栖香頂	121	
47	1888	2	21	詩歌	雲歌勅作	西秋谷	121	
47	1888	2	21	詩歌	新年即事	在大島 大河内長	122	
47	1888	2	21	詩歌	令知会の新年宴に	土岐善静	122	
47	1888	2	21	集録	暹羅大使問対略記	著者名なし	122	
47	1888	2	21	本会記事			127	
47	1888	2	21	本会報告			128	
48	1888	3	21		改良の基本如何	吉谷寛寿	129	持主兼印刷人: 福沢重香 編集人: 平松理賢 発行所: 令知会/東京麹町区上六番町四番地
48	1888	3	21	講録	海印三昧	小栗栖香頂 講述 東館大道 筆記	135	
48	1888	3	21	講録	課余摘萃第二進化論価直(接前)	愛樫仙士	146	
48	1888	3	21	講録	小乗戒一斑(接前)	著者名なし	154	
48	1888	3	21	論説	仏教道徳新論(接前)	村上專精	161	
48	1888	3	21	雑報	暹羅大使外九件		173	「サイアム大使」「各宗協議所」「日本人」「中西源流」「女学校」「千葉感化院」「合寺建議の却下」「当今の雲行き」「サイアム留学」「加藤弘之氏」「生田氏香港より島地氏へ書信の抄略」
48	1888	3	21	詩文	詩六首文一編		179	
48	1888	3	21	詩文	賀西秋谷先生八秩	廣瀬雪堂	180	
48	1888	3	21	詩文	読幽霊説戯作	中村竹涯	182	
48	1888	3	21	詩文	信仏十首之一	著者名なし	182	
48	1888	3	21	詩文	送生田雲溪赴暹羅	祝堂契縁	182	
48	1888	3	21	詩文	咏富岳五首之二	宮原大石橋	182	
48	1888	3	21	詩文	咏富岳五首之二	著者名なし	183	
48	1888	3	21	詩文	仏門立志編序	碩果 南條文雄	184	
48	1888	3	21	集録	暹羅公使問対雑記第二	著者名なし	185	
48	1888	3	21	本会記事			191	
48	1888	3	21	本会報告			191	
49	1888	4	21		仏教は如何に改良すへき乎	村上專精	193	
49	1888	4	21	講録	終始心要講義(接前)	吉谷寛寿	203	
49	1888	4	21	講録	靈魂の論争(接前)	天外道人	209	
49	1888	4	21	講録	十二縁起略弁	波多野源耀	219	
49	1888	4	21	講録	因果の理法を論ず	徳永満之	228	
49	1888	4	21	雑報	暹羅通信外十一件		235	「暹羅通信」「連枝及姫君の留学」「真如会及仏教唱歌会」「国府寺氏談話」「日本人」「一去一来」「国教と教科書」「瀧川寿女史」「京都府尋常中学校」「僧侶の洋行」「僧侶学校設立を議決す(やまと新聞)」「善蓮法彦氏」
49	1888	4	21	詩文	詩七首文一編		248	
49	1888	4	21		東台春興	脇屋清齋	248	
49	1888	4	21		次韻碧山居士答其問真宗教理	天地哲雄	248	
49	1888	4	21		雨中觀東台桜花	菊瀨居士	249	
49	1888	4	21		口占二首	赤松精士	249	
49	1888	4	21		徒然草鈔録序教会用本	島地黙雷	250	
49	1888	4	21	集録	桐陰叢語	桐陰居士	251	桐陰居士
49	1888	4	21	集録	愛の勢力	沢井洵 訳	252	
49	1888	4	21	本会記事		著者名なし	256	
49	1888	4	21	本会報告		著者名なし	256	
50	1888	5	21		令知会改正条規		1	目次になし
50	1888	5	21		空論を去て実用に就けよ	島地黙雷	257	
50	1888	5	21	講義	仏教因果論	村上波山稿	269	
50	1888	5	21	講義	因果の理法を論ず(接前)	文学士 徳永満之	277	
50	1888	5	21	論説	正像末の三時と進化論の關係(を論ず)	平松理賢	289	
50	1888	5	21	論説	仏教の宗旨に智力情感の名称を付するの理由なきを弁す	吉谷寛寿	291	
50	1888	5	21	雑報	全国監獄囚徒並に監吏及費用の数(外十六件)		298	「全国監獄囚徒並に監吏及費用の数」「福田行誠和上」「囚徒追吊会」「地方制度」「原人論講義」「和敬会演説」「免囚保護慈善会」「米國通信」「會員井上円了君」「大谷校創立の企」「仏教道徳新論」「外道菩薩に異見を呈す」「大日本監獄協会」「冠註徒然草抄録」「外人贈饌」
50	1888	5	21	詩歌	晚春雨中庵寺看花	雲石老衲	310	
50	1888	5	21	詩歌	郊行所見	著者名なし	310	
50	1888	5	21	詩歌	初夏山居	著者名なし	311	
50	1888	5	21	詩歌	題翠雲女史画	清泉居士	311	
50	1888	5	21	詩歌	偶成	著者名なし	311	
50	1888	5	21	詩歌	送高田晚耕赴任宮崎県	雨田逸史	311	
50	1888	5	21	詩歌	高田老母の七十の賀に	著者名なし	312	
50	1888	5	21		落花	東菓	312	
50	1888	5	21		同	澗翁	312	
50	1888	5	21	集録	題名なし	晚潮道人	313	
50	1888	5	21		本会記事及報告		313	
51	1888	6	21		仏教革新の時機至れり	遜堂病衲	315	持主兼印刷人: 福沢重香 編集人: 中山理賢 発行所: 令知会/東京麹町区上六番町四番地
51	1888	6	21	講義	始終必要(接前)	吉谷寛寿	324	
51	1888	6	21	講義	仏教因果論(接前)	村上波山稿	331	
51	1888	6	21	講義	課余摘萃	愛樫仙士	341	愛樫仙士
51	1888	6	21	講義	因果の理法を論ず	徳永満之	349	
51	1888	6	21	論説	理学宗及道徳新論批評	中山理賢	356	
51	1888	6	21	雑報	暹羅通信外三件		368	「暹羅通信」「文学博士」「仏教講義会」「井上円了」
51	1888	6	21	詩文	汚南條文雄師垂碧行芳韻賦暹羅行	在暹 善連 法彦	374	
51	1888	6	21	詩文	遇成	生田雲溪	376	
51	1888	6	21	本会記事			377	
51	1888	6	21	本会報告			377	
52	1888	7	23		仏教興廢論	嶋地黙雷	379	
52	1888	7	23	講義	始終必要	吉谷寛寿	388	
52	1888	7	23	講義	課余摘萃第四	愛樫仙士	394	愛樫仙士
52	1888	7	23	論説	欧州近世世教の景況	大学卒業生 柳 祐信	404	
52	1888	7	23	論説	青年僧侶運動の方針	多田公岳	409	
52	1888	7	23	雑報	暹羅皇帝外数件		417	「暹羅皇帝寄贈」「西行と洋行」「仏光寺派本山の動揺(中外電報)」「暹羅通信(前号の続き)」
52	1888	7	23	詩文和歌	将赴米國渥美君賜高作次韻賦呈	宮部円城	421	
52	1888	7	23	詩文和歌	送官部円城師之米國次其別別詩韻	木石居士	422	
52	1888	7	23	詩文和歌	再用前韻	同	422	
52	1888	7	23	詩文和歌	送生田雲溪赴暹羅開序	佐々木狂介	423	
52	1888	7	23	詩文和歌	井上文学士遊歐送別会に誦ひ出せる今様二節	土岐善静	427	

52	1888	7	23	詩文和歌	深川本誓寺に先師行誡上人の御跡吊ふ法の会に	著者名なし	427	
52	1888	7	23	詩文和歌	蓮を	著者名なし	427	
52	1888	7	23	集録	故笠原師手翰	南條文雄	428	
52	1888	7	23	本会記事	討論筆記外数件		433	
52	1888	7	23	報告			441	
53	1888	8	23		修因感果	中山理賢	443	
53	1888	8	23	講義	始終心要(接前)	吉谷覺壽	449	
53	1888	8	23	講義	課余摘萃第五	愛媛仙士	454	
53	1888	8	23	講義	仏教因果論(接前)	村上波山	461	
53	1888	8	23	論説	青年僧侶に告ぐ	多田公岳	472	
53	1888	8	23	雑報	女子文芸講習会外十一件		481	「女子文芸講習会」「女子高等小学校」「青年伝道会」「海外宣教会」「我行く道」「宣教師の傲慢」「講義会」「太平洋」「仏教家の奮発」「田中智学氏」「米納請願」「関西宗況」
53	1888	8	23	詩歌	夏日雑詠	南園老衲	490	
53	1888	8	23	詩歌	浦賀雑詠五首之一	羽田尊盟	491	
53	1888	8	23	詩歌	救	土岐善静	491	
53	1888	8	23	批評	エル子スト、エフ、フエ子ロサ氏	文学士 三宅雄二郎	491	
53	1888	8	23	寄書	現在の布教家は実行の手段を探らざる可らず	本多教令	497	
53	1888	8	23	集録	桐陰叢語	桐陰居士	502	
53	1888	8	23	本会記事			505	
53	1888	8	23	報告			505	
54	1888	9	23		僧侶は普通教育に従事すへし	島地黙雷	509	
54	1888	9	23	講義	始終心要(接前)	吉谷覺壽	520	
54	1888	9	23	講義	天台宗大意	伊勢 前田慧雲	524	
54	1888	9	23	論説	創業守成論	遜堂逸史	533	
54	1888	9	23	雑報	徳永文学士外九件		539	「徳永文学士」「新井日蓮師」「高島石炭坑」「寺田福寿氏(会員)は今回ユニテリアン宗の教師ナツ氏に左の質問書を贈られたり」「英国宣教師の総引上」「法話」「言文一致の新蔵経」「米国の日本館」「女子文芸学の授業始め」「三十日学校」
54	1888	9	23	詩文	佐々木徹周師。遺所著奏録録。安心評議弁諸編。賦長歌答謝。師住于越前某寺。元為真宗大谷派。有故。入融通念仏宗。	著者名なし	548	
54	1888	9	23	詩文	視宮部門成を視察教法巡遊海外	巖華道人	550	
54	1888	9	23	詩文	備後光熙寺主関城師携隆円法眼所画円光大師絵伝来示賦二絶句贈之	桐陰居士	551	
54	1888	9	23	詩文	偶成	蓮舶	551	
54	1888	9	23	詩文	八月六日。再遊熱海。十三日。訪大隈伯於富士屋。	蓮舶	552	
54	1888	9	23	詩文	教海美譚第一編序	小栗栖香頂選	552	
54	1888	9	23	寄書	厭忻弁	鈴木天遊	555	
54	1888	9	23	批評	宗教小説改革新話	F.Z生	561	
54	1888	9	23	本会記事		著者名なし	566	
54	1888	9	23	報告		著者名なし	571	
54	1888	9	23		正誤表	著者名なし	571	53号472頁、454頁
55	1888	10	23		将来の世に仏種をして断せさら令めよ	吉谷覺壽	573	
55	1888	10	23	講義	三難通釈	在羅羅 生田得能	580	
55	1888	10	23	講義	仏教因果論(接前)	村上波山	595	
55	1888	10	23	論説	仏教家の注意を請ふ	本多教令	605	
55	1888	10	23	雑報	ナツ氏の答弁外5件		612	「ナツ氏の答弁」「暹羅安居日の景況」「浦和形上会」「耶穌教公許の請願」「令女教会」「本派本願寺の改革」
55	1888	10	23	詩歌	聞磬梯山噴火崩裂感而有作	不石居士	624	
55	1888	10	23	詩歌	聞大垣水災書感	不石居士	625	
55	1888	10	23	詩歌	秋夜感懐	垣田弥	626	
55	1888	10	23	詩歌	遊大洗次増田穂風韻	垣田弥	626	
55	1888	10	23	詩歌	新暦八月十五日の夕暮に	土岐善静	626	
55	1888	10	23	寄書	将来の仏教	笹原貞軒	627	
55	1888	10	23	集録	題名なし	著者名なし	632	大無量寿経 四十八願
55	1888	10	23	本会記事		著者名なし	635	
55	1888	10	23	報告		著者名なし	635	
56	1888	11	23		光明解釈	島地黙雷	1	
56	1888	11	23	講義	天台宗大意(五十四号続) 待絶二妙大旨	前田慧雲	9	
56	1888	11	23	講義	喇嘛教概略	石村貞一	15	
56	1888	11	23	講義	課余摘萃(第五の上) 哲学者カント及びヒラマルク二氏の進化論	愛媛仙士	23	
56	1888	11	23	論説	大同団結は我党に必要ななし	轟然居士	34	
56	1888	11	23	論説	仏教字典の案	三宅雄二郎	42	
56	1888	11	23	雑報	米国学生の書翰外三件		51	「米国学生の書翰」「昭宮殿下」「同志社大校」「簡易科小学校教員速成伝習所」
56	1888	11	23	集録	題名なし	著者名なし	60	大無量寿経 四十八願
56	1888	11	23	正誤	正誤	著者名なし	64	54号548頁、55号621頁、622頁、624頁
56	1888	11	23	報告		著者名なし	64	
57	1888	12	23		仏教演説の未来をトして青年僧侶に望む	遜堂逸史	65	
57	1888	12	23	講義	始終心要(接前)	吉谷覺壽	73	
57	1888	12	23	講義	靈魂の論争	天外道人	78	
57	1888	12	23	講義	天台宗の大意(五十六号続)	前田慧雲	91	
57	1888	12	23	論説	東京の寺院に申す	般舟老人	103	
57	1888	12	23	論説	深夜の幽思	多田公岳	106	
57	1888	12	23	雑報	某文学士の仏教に対する意見外九件		115	「某文学士の仏教に対する意見」「小椋諦善氏」「改邪帰正」「貴婦人会」「ダンマナンダー氏」「特赦假放免並に賞標授与者」「獄中婦人の詩歌」「海外仏教事情」「免囚保護会社開創」「同日築地本願寺の令女教会第三回」
57	1888	12	23	詩歌	互硯歌	木石居士	120	
57	1888	12	23	詩歌	失題	五岳老衲	122	
57	1888	12	23	詩歌	又	五岳老衲	122	
57	1888	12	23	詩歌	雨中遊樂王寺	秋月必山	123	
57	1888	12	23	詩歌	題画	同人	123	
57	1888	12	23	詩歌	雨中天城山を越ゆる時よめる	同人	123	
57	1888	12	23	批評	ユニテリアンの教義と仏教との比較評論	九華道人	123	
57	1888	12	23	報告		著者名なし	127	
58	1889	1	23		新年書感	雨田道人	129	島地黙雷
58	1889	1	23	審訊	馬博士の宗教論	文科大学学生 愛媛仙士	134	
58	1889	1	23	講義	喇嘛教概略(第五十六号の続)	石村貞一	142	
58	1889	1	23	論説	日本人種の永續を謀るには先づ国教の基礎を堅牢にさせる可からず	文学士 辰巳小二郎	150	
58	1889	1	23	論説	調和論	本多教令稿	154	
58	1889	1	23	論説	明教記者に答て併て大同団諸氏に望む	轟然居士	164	
58	1889	1	23	雑報	尊王奉仏大同団外五件		175	「尊王奉仏大同団」「越後通信」「耶穌教書籍の廉価なる理由」「六和女学校」「宗教の費用とは何そや」
58	1889	1	23	詩歌	摸写古印影歌芝并雨岳嶺	宮原木石	182	
58	1889	1	23	詩歌	歳旦	入江石泉	183	
58	1889	1	23	詩歌	又	著者名なし	183	
58	1889	1	23	詩歌	歳暮	著者名なし	183	
58	1889	1	23	詩歌	水石契久	著者名なし	183	
58	1889	1	23	詩歌	水石契久	島地黙雷	183	
58	1889	1	23	詩歌	歳旦	著者名なし	183	

58	1889	1	23	集録	欣浄歌(接前)	著者名なし	184	
58	1889	1	23	寄書	厭離穢土の議に付き愚見	物外居士	187	
58	1889	1	23	寄書	謔言	風外子稿	191	
58	1889	1	23	本会記事			192	
59	1889	2	23		憲法発布式	平松理英	193	
59	1889	2	23	講義	始終心要(接前)	吉谷覺寿	202	
59	1889	2	23	審訊	馬博士の宗教論(前号続)	愛媛仙士	208	愛媛仙士課余摘訳
59	1889	2	23	論説	明治二十二年僧家運動の方針	前田惠雲	214	
59	1889	2	23	論説	大日本帝国憲法の発布に遇ふて	多田公彝	219	
59	1889	2	23	論説	人類を支配する勢力	帝国大学学生 鈴置重次郎	233	
59	1889	2	23	雑報	青木貞三居士外五件		237	「青木貞三居士」「オルゴット氏到着」「一秒時に一人」「憲法発布式」「元寇記念碑」
59	1889	2	23	詩文	梅	著者名なし	246	
59	1889	2	23	詩文	晨窓観山	著者名なし	246	
59	1889	2	23	詩文	学仙訣	著者名なし	247	
59	1889	2	23	詩文	夜雨	著者名なし	247	
59	1889	2	23	詩文	憲法発布式表白文	島地黙雷	247	
59	1889	2	23	集録	欣浄歌集(前々号続)	著者名なし	249	
60	1889	3	23		マルコット氏に就て	雨田道人	257	島地黙雷
60	1889	3	23	講義	始終心要(接前)	吉谷覺寿	268	
60	1889	3	23	講義	喇嘛教概略(五十八号の続)	石村貞一	272	
60	1889	3	23	審訊	玄奘三蔵入竺略記	愛媛仙士	280	
60	1889	3	23	論説	調和論(五十八号の続)	本多教令	287	
60	1889	3	23	論説	僧侶も亦強硬主義を断行すべし	新甫山僧	295	
60	1889	3	23	雑報	梅花拝観外四件		302	「梅花拝観」「帝国大学総長渡邊洪基氏」「阿満得聞氏と才氏の談話」「カビテンゼームス氏の話」「神智学会よりの書状」
60	1889	3	23	詞林	親備後光照寺所蔵古幅有感謝書贈寺主関城師	雪堂居士 廣瀬進一	308	
60	1889	3	23	詞林	感懐	鷺見順敬	310	
60	1889	3	23	詞林	親花有感	河野荃汀居士	311	
60	1889	3	23	詞林	戲賦	河野荃汀居士	311	
60	1889	3	23	詞林	遊墨水梅荘	吉雄菊瀨居士	311	
60	1889	3	23	詞林	題某氏梅荘	吉雄菊瀨居士	312	
60	1889	3	23	集録	真宗苑談叢卷上	前田慧雲	312	
60	1889	3	23	本会報告			319	
60	1889	3	23		正誤表		320	59号237頁、246頁
61	1889	4	23		本誌改良の旨趣	島地黙雷	1	持主兼印刷人:福沢重香 編集人:佐々木狂介 発行所:令知会/東京麹町区上六番町四番地
61	1889	4	23	論説	新仏教將に興起せんとす	佐々木狂介	5	
61	1889	4	23	論説	平易なる仏書編輯の急務	確堂散史	10	
61	1889	4	23	論説	仏陀は死物なるか活物なるか	村上波山	18	
61	1889	4	23	講義	始終心要講義	吉谷覺寿	22	
61	1889	4	23	集録	玄奘三蔵入竺略記(接前)	著者名なし	26	
61	1889	4	23	学術	科学要史	仙荘関人	28	
61	1889	4	23	学術	近世哲学略史	愛媛仙士	32	
61	1889	4	23	評論	宗教革命論	抑堂逸史	37	
61	1889	4	23	寄書	欧州各国宗教政党的の現況	在仏国 藤島胆岳	38	
61	1889	4	23	雑報	藤島了穂氏外十一件		41	「藤島了穂氏」「十七憲法和解」「仏教書籍の蒐集」「菅了法氏金尾稜猷氏」「上棟式と大法会」「本派本山の遠忌法会」「奇日新報」「島地氏の地方巡化」「帝国大学の独立」「村上專精氏の奮発」「白蓮会」「真宗青年会」
61	1889	4	23	勝友会記事			44	
61	1889	4	23	日報			46	
61	1889	4	23	詞林	霧積十四勝等七首		47	
61	1889	4	23	詞林	霧積十四勝	有髮仏徒 必山居士	47	
61	1889	4	23	詞林	題写真後	藤島胆岳	47	
61	1889	4	23	詞林	自京都帰播磨	鱸天遊	47	
61	1889	4	23	詞林	送唯蒼龍之布哇国	工藤樹翠	47	
61	1889	4	23	本会報告		著者名なし	48	
61	1889	4	23		正誤		48	35号雑報、59号雑報
61	1889	4	23	答問			48	佐々木生(英語の問いについて)
62	1889	5	23	会説	仏教学者の需要	著者名なし	1	
62	1889	5	23	論説	弘教堂策略なる可んや	抑堂居士	3	
62	1889	5	23	論説	政教の關係教師の資格を明にすへし	堀内静宇	5	
62	1889	5	23	講義	始終心要講義(接前)	吉谷覺寿	9	
62	1889	5	23	講義	仏教の主義	島地黙雷	11	
62	1889	5	23	集録	玄奘三蔵入竺略記(接前)	前田慧雲	15	
62	1889	5	23	集録	玄奘三蔵求法法賦 並序	島田藩根拜識	16	
62	1889	5	23	集録	故吉田松陰氏の手書 外二件	著者名なし	17	
62	1889	5	23	学術	近世哲学略史(接前)	愛媛仙士	18	
62	1889	5	23	学術	文明の元素	團下前	22	
62	1889	5	23	学術	淘汰論	岡道亮	23	
62	1889	5	23	雑録	在仏国藤島了穂氏の書簡	編者識	25	
62	1889	5	23	雑録	ラセラス物語を読む	晒浦生漫録	27	
62	1889	5	23	雑録	世界五色眼鏡	砲窟道人	30	演説
62	1889	5	23	雑録	羅馬政府の宗教自由	勝友会員 痴堂生	31	
62	1889	5	23	雑録	書目十種	著者名なし	33	
62	1889	5	23	特別寄書	一嘆一笑	文学士 棚橋一郎	34	
62	1889	5	23	寄書	真宗と家内の改良	和田秀蔭	37	
62	1889	5	23	寄書	仏書講述の諸士に望む	小林黙夫	39	
62	1889	5	23	雑報	「高等中学校の徳風会」「本派法主殿の帰山」「仏教青年協会」「東京仏教青年協会」「大阪仏教青年会」「徳嶋社年会」「大谷派本山祖師堂上棟式」「条約改正同志社の変事」「地方小学教員」「ツループ氏の英文宝庫」「プラーモ、ソマチュ」「監獄協会発会式」「福沢先生の仏事 令女教会」「埼玉婦人会」「降誕会」「米国より海外宣教会へ寄附」「紀州の豪族佐藤女史再びダ氏を訪ふ」「五戒と五常」「マルコット氏」「中西牛郎氏の洋行」		40	
62	1889	5	23	勝友会記事			48	
62	1889	5	23	令知会記事			49	
62	1889	5	23	日報			49	
62	1889	5	23	詞林	霧積十四勝	必山居士	51	接前
62	1889	5	23	詞林	送唯蒼龍之布哇	蘭田確堂	51	
62	1889	5	23	詞林	当世	晒浦釣徒	51	
62	1889	5	23	詞林	柿崎浄教寺感懐	金尾藍田	51	雑誌内題名「柿崎浄教寺感懐用雨田上人之韻」
62	1889	5	23	答問			51	南條文雄、小林点夫 インド梵語について
63	1889	6	23	会説	仏教青年会		1	
63	1889	6	23	論説	教会制度の組織及び実施の方案	土屋寛	5	勝友会懸賞文
63	1889	6	23	論説	道心には衣食住あり衣食住には道心なし	村上波山	7	
63	1889	6	23	講義	読経眼	島地黙雷	10	青年協会講話
63	1889	6	23	講義	始終心要講義(接前)	吉谷覺寿	14	
63	1889	6	23	集録	釈迦雲助問答	桐陰居士	16	抄録

63	1889	6	23	集録	真宗学苑談叢	前田惠雲	19	
63	1889	6	23	学術	科学要史(接前)	愛媛仙士	22	
63	1889	6	23	学術	文明の元素(接前)	園下前	25	
63	1889	6	23	学術	学術の分類	確堂散史	28	
63	1889	6	23	雑録	曙日蒼龍氏の書翰	著者名なし	31	
63	1889	6	23	雑録	魏摩夫人地獄及び転生	著者名なし	32	
63	1889	6	23	雑録	被選挙権	著者名なし	34	
63	1889	6	23	寄書	誰か謂ふ仏教徒に驚慌なしと	菊池謙讓	35	
63	1889	6	23	寄書	一個人に於て宗教の必用	楊堂散史	37	
63	1889	6	23	雑報	「条約改正に付き一言一擧」東京出獄人保護会 「本願寺大学林」「内務省の訓令」「尼僧学校」「同志社大学」「増上寺の本堂」「帝国博物館」「聾啞の原因」「高等女学校醜聞に付」「海外仏教事案第二集」「仏教挽回策」「仏教青年協会記事」		38	
63	1889	6	23	勝友会記事			43	
63	1889	6	23	日報				
63	1889	6	23	詞林	霧積十四勝	必山居士	47	接前
63	1889	6	23	詞林	北越旗亭 春晚	金尾藍田	47	
63	1889	6	23	詞林	送中西牛郎之于米国	晒浦釣徒	47	
63	1889	6	23	詞林	五月五日菊池大尉招飲于日暮里衆楽園	横井古城	47	
63	1889	6	23	詞林	次前韵	河野奎汀	48	
63	1889	6	23	詞林	又	下村春沙	48	
63	1889	6	23	答問				
63	1889	6	23	広告				
63	1889	6	23	本会記事				
64	1889	7	23	会説	此国家人民を奈何せん	晚暢道人	1	島地黙雷
64	1889	7	23	論説	デヒス氏の論を讀む	確堂散史	6	
64	1889	7	23	論説	護法扶宗策	工藤櫻堂	10	
64	1889	7	23	講義	読経眼	島地黙雷	13	青年協会講話
64	1889	7	23	講義	始終心要講義(接前)	吉谷覺寿	16	
64	1889	7	23	集録	天地万物皆わが影	桐陰居士	18	
64	1889	7	23	集録	四十八願長歌		21	
64	1889	7	23	学術	文明の元素(接前)	園下前	22	
64	1889	7	23	学術	淘汰論(接前)	岡田亮	24	
64	1889	7	23	学術	馬博士のカント哲学批評	園田天外	27	
64	1889	7	23	雑録	人の理力の差等を知る一法		30	
64	1889	7	23	雑録	金尾稜巖氏演説筆記		31	
64	1889	7	23	雑録	日本人種論	愛媛仙士	33	
64	1889	7	23	寄書	避暑休暇帰省日記 第一			
64	1889	7	23	寄書	学者の責任	痴堂居士	34	
64	1889	7	23	寄書	時事答問	不酔山人	36	
64	1889	7	23	雑報	「一夫一婦の建白要領」「改正監獄則の発布」 「井上円了氏」「外国人の海外宣教会へ寄附」「水谷智成氏の入院」 「鳥尾居士の大道学校」「米国は仏教者に依て発見せらる」 「仏教女子青年会」「藏経巻数」「布哇国寺院設立の計画」「米国の三居士」「真宗観眼会」「仏教青年協会記事」		40	
64	1889	7	23	勝友会記事			44	
64	1889	7	23	日報			44	
64	1889	7	23	詞林	客中述懐	藤島胆岳	45	
64	1889	7	23	詞林	又	著者名なし	45	
64	1889	7	23	詞林	祖忌感懐	金尾藍田	45	
64	1889	7	23	詞林	霧積十四勝	必山居士	46	
64	1889	7	23	詞林	漫吟	鱸天遊	46	
64	1889	7	23	答問		雲宗峯	46	
64	1889	7	23	實義		平野樞綱	46	天地創造説、靈魂、仏陀についての質疑
64	1889	7	23	正誤			46	63巻雑報、及び裏表紙について
64	1889	7	23	本会報告	附録 僧侶被選挙権私議	蕉窓閑人	1	64巻 巻末に収録
65	1889	8	23	会説	仏教の盛衰は日本国独立の成否に關す	昕上閑納	1	
65	1889	8	23	論説	降魔説	石村桐陰	4	
65	1889	8	23	論説	宗教及僧侶に關する各国の憲法	園下前	7	
65	1889	8	23	論説	教会制度の組織及実施の方案(接前)	土屋寛	10	
65	1889	8	23	講義	読経眼(接前)	島地黙雷	14	
65	1889	8	23	集録	日本春秋	桐陰居士	17	
65	1889	8	23	集録	真宗学苑談叢(接前)	前田惠雲	18	
65	1889	8	23	学術	近世哲学略史(接前)	愛媛仙士	20	
65	1889	8	23	学術	文明の元素(接前)	園下前	21	
65	1889	8	23	学術	馬博士宗教論(接前)	仙狂閑人	24	
65	1889	8	23	雑録	魏摩及上天地獄転生(接前)	晒浦居士	27	
65	1889	8	23	雑録	不思議なる語の弁	S.F.生	29	
65	1889	8	23	雑録	金尾稜巖氏の演説筆記(接前)	著者名なし	30	
65	1889	8	23	雑録	避暑休暇帰省日記第二	愛媛仙士	31	
65	1889	8	23	寄書	小乘は何ぞ	杉村浩太郎	34	
65	1889	8	23	寄書	青年の責任	上川黙笑	35	
65	1889	8	23	雑報	「本山の集会」「僧侶被選挙権有無に就て」 「加藤博士の女子教育説」「曹洞婦人教会」「哲学館並意見書」 「原元略説」「仏教文学叢書」「禁酒の軍旗」「島地香川二氏の登岳」 「新々因明發揮」「文藝学会定期試験」「法主御巡化の実績」		37	
65	1889	8	23	日報			43	
65	1889	8	23	詞林	論詩呈小野湖山詞宗	茂樹清泉居主人	46	
65	1889	8	23		省寧小吟	晒浦漁隱	46	
65	1889	8	23		銷夏四適	九華閑人	46	
65	1889	8	23	広告			44	
65	1889	8	23	本会報告		著者名なし	44	
66	1889	9	23	会説	記憶せよ九月二十三日			
66	1889	9	23	論説	僧侶か条約改正に対する運動に就ての意見	前田惠雲		
66	1889	9	23	論説	宗教及僧侶に關する各国の憲法(接前)	園下前		
66	1889	9	23	論説	義侠の風を振作すへし	和田痴堂		
66	1889	9	23	講義	慈有仏性	島地黙雷		
66	1889	9	23	講義	義林唯識章講義摘要	吉谷覺寿		
66	1889	9	23	講義	教海教一論	村上波山		
66	1889	9	23	学術	宇宙の原始	確堂逸史		
66	1889	9	23	学術	梵学の西漸	晒浦居士		
66	1889	9	23	学術	文明の元素(接前)	園下前		
66	1889	9	23	集録	東坡居士九想詩並序	著者名なし		
66	1889	9	23	集録	真宗学苑談叢(接前)	九華方外史		
66	1889	9	23	集録	阿弥陀仏の歌	藤原為兼		
66	1889	9	23	集録	論式の誤用	S.S.生		
66	1889	9	23	集録	抑止せよ	晒浦生		
66	1889	9	23	雑記	避暑休暇帰省日記 第三	愛媛仙士		
66	1889	9	23	雑記	登岳記事	雨田逸史		
66	1889	9	23	雑報	「嗚呼何ぞ天災地変の多き」「義捐金募集」 「彼の弁髪の人を看よ」「窮民救恤大演説」「築地の罹災死者追吊会」 「和歌山仏教青年会の運動」「八月二十六日の現象」「僧侶の条約中止建白」 「金尾稜巖及び石川舜台の両氏」「十二条改定建白委員」 「本派本山の仏事禁酒」「三田大学創立に就ての勸進」 「文庫設立」「奇日新報」「藤嶋了穂氏」「愈々出て」「瓜哇国の仏教伝道院」「大磯の仮説教所」			
66	1889	9	23	勝友会記事				

66	1889	9	23	詞林	送法孫慈孝留学東京序		49
66	1889	9	23	詞林	奉贈藤嶋井上両大師即送帰日本外教首		50
66	1889	9	23	日報			
66	1889	9	23	広告			
67	1889	10	23	会説	仏教主義なる大新聞の必要	著者名なし	
67	1889	10	23	論説	駿河台ニコライ会堂落成の風説を聞いて所感を陳ふ	嶺南山人	
67	1889	10	23	論説	教会制度の組織及実施の方案(接前)	土屋寛	
67	1889	10	23	講義	読経眼第四	島地黙雷	
67	1889	10	23	講義	義林唯識章講義摘要(接前)	吉谷寛寿	
67	1889	10	23	学術	近世哲学略史(接前)	愛媛仙士	
67	1889	10	23	学術	宇宙の原始(接前)	確堂散史	
67	1889	10	23	学術	道徳の原理	象外逸士	
67	1889	10	23	集録	法華經古本宋本明本優劣弁	大僧都宗淵	
67	1889	10	23	集録	東坡居士九想詩並歌(接前)		
67	1889	10	23	雑記	気儘なる憲法の解釈	S.S.生	
67	1889	10	23	雑記	避暑休暇帰省日記第四	愛媛仙士	
67	1889	10	23	雑記	宗教及僧侶に関する各国の憲法(接前)	園下前	
67	1889	10	23	雑報	「立太子式」「水害救恤」「僧侶被選挙權建白委員上京」「藤嶋了穂氏」「帰朝祝宴」「仏教或問」「令女教会一周年期」「山下乘円氏」「越中の三党派」「新潟県出獄人保護会」		
67	1889	10	23	詞林	詩数首		38
67	1889	10	23	詞林	伯林旅邸贈藤嶋上人即題其所訳梵書	番禺潘飛声	38
67	1889	10	23	詞林	呈藤嶋大師	大清國南呂杰卿	38
67	1889	10	23	詞林	又	未定稿	38
67	1889	10	23	詞林	次呂杰卿所贈詩韵却贈	嶺南榘末使臣呂杰卿	38
67	1889	10	23	詞林	太平洋作中	未定稿	38
67	1889	10	23	詞林	俳句	藤嶋了穂	38
67	1889	10	23	詞林		藤嶋了穂	38
67	1889	10	23	詞林		後志國小樽舟公舎	38
67	1889	10	23	詞林		古隠	
67	1889	10	23	日報			
67	1889	10	23	質問応答	七福神の間に答ふ	石村桐陰	
67	1889	10	23	勝友会記事	藤嶋了穂氏の談話		
67	1889	10	23	広告			
68	1889	11	23	会説	恭しく立皇太子の典を祝す		
68	1889	11	23	論説	事小なるに似たりと雖も甚た吾国の体性に害あり	蕪香逸人	
68	1889	11	23	論説	臆病神の御宣託	痴堂生	
68	1889	11	23	論説	教会制度の組織及実施の方案(接前)	土屋寛	
68	1889	11	23	講義	義林唯識章講義摘要(接前)	吉谷寛寿	
68	1889	11	23	集録	法華經古本宋本明本優劣弁(接前)	宗淵	
68	1889	11	23	集録	大蔵却論	独一道人	
68	1889	11	23	集録	続真宗学苑談叢	前田慧雲	
68	1889	11	23	学術	西洋近世哲学略史(接前)	愛媛仙士	
68	1889	11	23	学術	道徳の原理(接前)	象外逸士	
68	1889	11	23	学術	梵学西漸(接前)	晒浦居士	
68	1889	11	23	雑記	昔時旧教僧俗の悖徳	柳亭迂夫	
68	1889	11	23	雑記	羯磨上天地獄転生(接前)	艸官道人	
68	1889	11	23	雑記	婦人の頓智数多の性命を救ふ	龍岡S.S.	
68	1889	11	23	雑記	? 檀は二業より	龍岡S.S.	
68	1889	11	23	雑記	避暑休暇帰省日記第五	愛媛仙士	
68	1889	11	23	雑報	「謹て立皇太子を祝す」「高等学校講話」「嶋地師福島県巡化」「真宗正統会」「町田久成氏」「清国人の破邪論」「都文館」「アーノルド氏」「暹羅雜租俎」		
68	1889	11	23	詞林	文詩歌		41
68	1889	11	23	詞林	岡本子後序	蘭田宗惠謹選	42
68	1889	11	23	詞林	将発欧州帰思殊切	藤嶋胆岳	42
68	1889	11	23	詞林	大西洋舟中作	著者名なし	42
68	1889	11	23	詞林	桑港客舎作	著者名なし	42
68	1889	11	23	詞林	太平洋舟中作	大清國南呂杰卿	42
68	1889	11	23	詞林		未定稿	42
68	1889	11	23	詞林	学仙訣	秋月必山	42
68	1889	11	23	詞林	閑居	著者名なし	42
68	1889	11	23	詞林	笑長田銚太郎君	著者名なし	42
68	1889	11	23	詞林	石観音讀	前田九華	42
68	1889	11	23	詞林	題名なし	雄山君龍	42
68	1889	11	23	質問応答			
68	1889	11	23	勝友会記事			
68	1889	11	23	広告			
69	1889	12	23	会説	明治二十二年を送る		
69	1889	12	23	論説	明治二十二年を送る僧侶被選挙權に及ふ	園下前	
69	1889	12	23	論説	北海道布教の急を論じて之を各宗の諸大徳に望む	前田慧雲	
69	1889	12	23	講義	義林唯識章講義摘要(第四回)	吉谷寛寿	
69	1889	12	23	講義	読経眼第五	島地黙雷	
69	1889	12	23	集録	大蔵却論(接前)	独一道人	
69	1889	12	23	集録	続真宗学苑談叢(接前)	慧雲野衲	
69	1889	12	23	集録	西哲佳譚	f.s.	
69	1889	12	23	学術	淘汰論(接六十四号)	岡道亮	
69	1889	12	23	学術	人類及び其発達	確堂散史	
69	1889	12	23	雑記	羯磨及び上天地獄転生(接前)	晒浦居士	
69	1889	12	23	雑記	活潑と安楽	蕪香閑衲	
69	1889	12	23	雑記	避暑休暇帰省日記追補	愛媛仙士	
69	1889	12	23	批評	北島道龍師の法界独断を評す	愛媛仙士	
69	1889	12	23	雑報	「法界独断の演説」「真宗宝典」「欧州見聞録」「第十二条の建白」「出版物の禁止」「アーノルド氏の演説大意」「会長島地師巡教略記」		
69	1889	12	23	詞林	詞数首		45
69	1889	12	23	詞林	梅	秋月必山	45
69	1889	12	23	詞林	歲晚雜詠二首	前波小帆	45
69	1889	12	23	詞林	歲晚書懷	前田九華	45
69	1889	12	23	詞林	吊佐々木法雨	園下前	45
69	1889	12	23	勝友会記事			
69	1889	12	23	広告			
70	1890	1	23	会説	四月一日と七月一日		
70	1890	1	23	論説	新年畫感	九華閑人	
70	1890	1	23	論説	道徳は空理空論に非ずして實際問題なり	杞憂道人	
70	1890	1	23	論説	護法扶宗論(接六十四号)	工藤樞聖	
70	1890	1	23	講義	読経眼第六	島地黙雷	
70	1890	1	23	講義	義林唯識章講義摘要(第五回)	吉谷寛寿	
70	1890	1	23	集録	すたすた坊主問答	石村桐陰	
70	1890	1	23	集録	歲暮窓放言序跋	著者名なし	
70	1890	1	23	集録	続真宗学苑談叢(接前)	慧雲閑衲	
70	1890	1	23	学術	宗教学講究の方針	藤下象外	
70	1890	1	23	学術	春秋を論ず	確堂逸史	
70	1890	1	23	雑記	博士ジョンソンの確言数則	エスエス	
70	1890	1	23	雑記	後楽園記	愛媛居士	
70	1890	1	23	批評	北島道龍師の法界独断を評す	愛媛居士	

70	1890	1	23	雑報	「今年は重々目出度き年柄なり」「各宗有志懇話会」「法律第三号第十二条件」「各宗有志通信所」「宣会勸学の老健」「三国仏教略史」「難山文庫」「原人論新訳」「護法済衆編」		39	
70	1890	1	23	詞林	文詩俳句数首		42	
70	1890	1	23	詞林	三国仏教略史序	蓮船小栗栖香頂 誌于東京富母楼	42	
70	1890	1	23	詞林	三国仏教略史序	辱友連城識	43	
70	1890	1	23	詞林	丁丑歳「木少」放吟	広瀬雪堂	44	
70	1890	1	23	詞林	庚寅新年早朝口占	著者名なし	44	
70	1890	1	23		庚寅元旦	雨田老衲	44	
70	1890	1	23		庚寅元旦	石村桐陰	44	
70	1890	1	23		除夕	石村桐陰	44	
70	1890	1	23		除夕次桐陰詞伯韻	河野南崖	44	
70	1890	1	23		元旦	入江石泉	44	
70	1890	1	23		感懐	前波小帆	44	
70	1890	1	23	勝友会記事				
71	1890	2	23		徳育の標準、文部大臣の演説			
71	1890	2	23		宗教海の波瀾	園下前		
71	1890	2	23		義林唯識章講義摘要(第七回)	吉谷覺壽		
72	1890	3	23	会説	首楞嚴経一節	鳴地黙雷		島地黙雷
72	1890	3	23	論説	博覧学の話	南條文雄		
72	1890	3	23	講義	老子を論じて	藤下啓証		
72	1890	3	23	講義	近世哲学史(承前)	愛蔵仙士		
72	1890	3	23	学術	大蔵却論(接前)	独一人		
72	1890	3	23	学術	盜賊問答	馬耶溪逸史		
72	1890	3	23	学術	続真宗学苑談叢(接前)	慧雲閑納		
72	1890	3	23	集録	万法一心(接前)	嵐山受澄寄稿		
72	1890	3	23	集録	瀆弓氏の書	佐々木狂介		
72	1890	3	23	集録	「主客問答」「教会場の新築」「大博覧会」「涅槃堂施葬会」「議会の価値一千五百万円」「小学校の授業料」「大日本国書会社の設立」「御用心御用心くくの字形繰り返し記号」「日蓮上人の書翰」「初め心苦しき」「星界想遊記」「仏教或問」「ゆにてりあん」「南洋			
72	1890	3	23	寄書	三国仏教略史序	島地黙雷		
72	1890	3	23	寄書	女子真論序	棚橋絢子		
72	1890	3	23	雑報				
72	1890	3	23	詞林				
72	1890	3	23	詞林				
72	1890	3	23	勝友会記事	皇室と基督教とは両立せず			
72	1890	3	23	日報	人生道義の必要に就て	村上專精		
72	1890	3	23	広告	流行に就て感あり	痴堂		
73	1890	4	23	会説	夢	法外堂主人		
73	1890	4	23	論説	義林唯識章講義摘要(第八回)	吉谷覺壽		
73	1890	4	23	論説	春秋を論ず(接前)	確堂逸史		
73	1890	4	23	論説	老子を論ず(接前)	藤下啓証		
73	1890	4	23	講義	博覧会につき	S.S.		
73	1890	4	23	学術	万法一心(其三)	嵐山受澄寄稿		
73	1890	4	23	学術	大蔵却論(接前)	独一人		
73	1890	4	23	寄書	蜀山人の話	春園主人		
73	1890	4	23	寄書	黒本尊の事	石村貞一		
73	1890	4	23	集録	飛鳥山の花を見て	愛蔵仙士		
73	1890	4	23	集録	司馬温公解禪偈	石養道人		
73	1890	4	23	集録	二十三冊の弁	曲々子		
73	1890	4	23	集録	天地神の解	馬耶溪逸史		
73	1890	4	23	集録	「陸海軍大演習に付て勅語及び講評」「仏教有志大懇話会」「米国人殺害事件」「東京市中案内大全」「求友会の祝宴」「禁酒主義の拡張」「黄梨宗前管長の僧籍返上」「大博覧会」「上毛婦人教育会」「防長学友会」「島地黙雷会長」「伯刺西爾國に於ける政教分			
73	1890	4	23	集録	香宝寺鐘銘并序	島地黙雷	41	
73	1890	4	23	集録	大瀧山不動寺碑銘并序	島地黙雷	41	文末に「入笠沙門黙雷選」
73	1890	4	23	雑報	約同勝友会諸士見桜飛鳥山偶臨期有故不果賦 此以寄諸士併為謝	多田賢住	42	
73	1890	4	23	詞林	題名なし	春園	42	
73	1890	4	23	詞林	題名なし	春園	42	
73	1890	4	23	詞林	題名なし	春園	42	
73	1890	4	23	詞林			42	
73	1890	4	23	詞林				
73	1890	4	23	勝友会記事	民法發布に付て一般人民の心得を論ず			
73	1890	4	23	日報	貧民救恤に付て之を全国の富者に計る	園下前		
73	1890	4	23	広告	夢(接前)	法外堂主人		
74	1890	5	23	会説	義林唯識章講義摘要(第九回)	吉谷覺壽録		
74	1890	5	23	論説	大蔵却論(接前)	独一人		
74	1890	5	23	論説	真宗学苑談叢第三編	九華方外史慧雲		
74	1890	5	23	講義	桜と辯の同異考	善庵居士		
74	1890	5	23	集録	白侍郎六讃偈並序	石養道人		
74	1890	5	23	集録	近世哲学史(承前)	愛蔵仙士		
74	1890	5	23	集録	人類の起源及其発達(接六十九号)	確堂散史		
74	1890	5	23	集録	宗教学講究の方針	藤下象外稿		
74	1890	5	23	学術	僧侶の鬚髪を論ず	二十二散史		
74	1890	5	23	学術	因明と飯納法	織田信麻		
74	1890	5	23	学術	「内閣の更迭」「山県伯と榎本子との問答」「府県郡制の發布」「三党合同」「東京市知事の更迭」「十五年間降雨の量」「細民困難の原因」「開帳」「仏教を犠牲と為す莫れ」「其底止する処を知らず」「何ぞ速に其職を去らざる」「北海道の青年仏教会」			
74	1890	5	23	寄書				
74	1890	5	23	寄書	国文学読本			
74	1890	5	23	時評	垂細垂之光輝			
74	1890	5	23	雑報	桐陰居士所蔵古銅仏教	吉雄菊瀨		
74	1890	5	23	批評	仏教問答序	島地黙雷		
74	1890	5	23	批評	良翁	河野南崖		
74	1890	5	23	詞林	雨中偶成	石村桐陰		
74	1890	5	23	詞林	河中嶋巡教塗上口占	雨田老衲		
74	1890	5	23	詞林	自四月十七日至五月五日			
74	1890	5	23	勝友会記事				
74	1890	5	23	求友会記事	日宗管長の辞職			
74	1890	5	23	日報	敬て各宗の管長に白す	痴堂居士		
74	1890	5	23	広告	唯識所変に就て或人の疑問に答ふ	嵐山受澄		
75	1890	6	23	会説	義林唯識章講義摘要(第十回)	吉谷覺壽録		
75	1890	6	23	論説	大蔵却論(接前)	独一人		
75	1890	6	23	論説	堪忍如来	馬耶溪逸史		
75	1890	6	23	講義	是名出家	曲々子		
75	1890	6	23	集録	金剛経有為法九論講義文分解	南條文雄		
75	1890	6	23	集録	宗教学講究の方針(接前)	藤下象外		
75	1890	6	23	集録	因明と飯納法(接前)	織田信麻		
75	1890	6	23	学術	松虫鈴虫考一斑	二十二前		
75	1890	6	23	学術	貴族院多額納税者議員の互選当選者			
75	1890	6	23	寄書	衆議院議員は如何なる人物が当選すべきか			

75	1890	6	23	寄書	日秘紙業会社の大失敗			
75	1890	6	23	時評	「各宗管長会議の議決」「統計家各官長会議を評す」「Union and Union」「女子文藝学会」「大法主殿白蓮社口親猊す」「東京市中の女学校」「貧民救恤に付て外教者の勧誘手段」「坊主市」「明治諸宗綱要」「錫蘭島誌」「雪窓問答」			
75	1890	6	23	時評	大道二首	棚橋大作		
75	1890	6	23	時評	八不精廬八首	前田九華		
75	1890	6	23	雑報	見真大師降誕会恭賦歌題寄竹祝	石村桐陰		
75	1890	6	23	詞林	宗隆降誕会の祝辞	神代喜美子		
75	1890	6	23	詞林	同寄竹祝歌数首		39	
75	1890	6	23	詞林	題名なし	和加子	39	
75	1890	6	23	詞林	題名なし	ひさ子	39	
75	1890	6	23	詞林	題名なし	直子	39	
75	1890	6	23	詞林	題名なし	瑞枝子	39	
75	1890	6	23	詞林	島地上人の法話をききうれしさのあまり如是本末 眞意平等の心を	新潟 原信水	39	
75	1890	6	23	詞林	同十界を題にて	同 関崎真弘	39	
75	1890	6	23	詞林	活仏	如是散人		
75	1890	6	23	勝友会記事	自六月一日至十四日			
75	1890	6	23	求友会記事				
75	1890	6	23	附録	還俗衆議院議員諸氏に一言す			
75	1890	6	23	日報	政府の宗教に対する責任	環球道人 藤島了穂		
75	1890	6	23	広告	管長会議の大欠典	二十二散史		
76	1890	7	23	会説	義林唯識章講義摘要(第十一回)	吉谷覺壽録		
76	1890	7	23	論説	金剛經有為法九喻偈梵文分解(接前)	南條文雄稿		
76	1890	7	23	論説	孔子と「ソクラテス」の比較	杞憂道人		
76	1890	7	23	講義	因明と飯納法	織田信麻		
76	1890	7	23	学術	敢て婦人教会雑誌記者に質す	女史 井上花魁		
76	1890	7	23	学術	大蔵却論(接前)	独一人道		
76	1890	7	23	寄書	真宗学苑談義第三遍(接前)	前田慧雲		
76	1890	7	23	寄書	和歌の三夕	春園主人		
76	1890	7	23	集録	飢饉年の話	馬耶溪逸士		
76	1890	7	23	集録	蟬	曲々子		
76	1890	7	23	集録	人梅と出梅	石養道人		
76	1890	7	23	集録	「基督教新聞の妄」「衆議院議員の外教信者」 「虎軍勢? 蕪なり」「清狂草堂の建設并遺稿上梓」「吉谷氏の書翰」「無常堂の施貸規則」			
76	1890	7	23	集録	「衆議院議員の選挙終り」「貴族院三爵互選亦終り」「両議員の役者揃ひ」「開けて悔しき」			
76	1890	7	23	集録	真宗問答序	藤島了穂		
76	1890	7	23	雑報	奉祝宗祖大師降誕会	光山大雲		
76	1890	7	23	時評	題自著真宗学苑談義後十首	前田九華		
76	1890	7	23	詞林	逸題	七十八堂生 二十二前		
76	1890	7	23	詞林	五月雨	中村東敬		
76	1890	7	23	求友会記事	道徳的信仰と情感的信仰とを論じて会員諸君の教 を乞ふ			
76	1890	7	23	日報	エビキュラス氏と仏氏	棚橋一郎		
76	1890	7	23	広告	対喇嗎僧問答記	生田得能		
77	1890	8	23	会説	義林唯識章講義摘要(第十二回)	吉谷覺壽録		
77	1890	8	23	論説	大蔵却論(接前)	独一人道		
77	1890	8	23	論説	真宗学苑談義第三遍(接前)	前田慧雲		
77	1890	8	23	講義	飢饉の話(接前)	馬耶溪逸士		
77	1890	8	23	集録	金剛經有為法九喻偈梵文分解(接前)	南條文雄		
77	1890	8	23	集録	宗教学講究の方針(接前)	藤下家外		
77	1890	8	23	集録	在東京の高僧諸師に望む所あり	本田秋香女史		
77	1890	8	23	学術	「山奥内閣の運命」「憲法伯」「今の神官」「彼の老圃に問ふ」			
77	1890	8	23	学術	祭瀧川寿子霊	小野田亮正	34	
77	1890	8	23	寄書	井岡公教会発会式席上寄會員諸氏		34	
77	1890	8	23	時評	陸雨田上人游浦浜船中八歌仙擬飲中八歌仙	鴉背翁	34	
77	1890	8	23	詞林	首尾吟儂節奔鉢節録	棚橋大作	35	
77	1890	8	23	詞林	喫水	九華新製	35	
77	1890	8	23	詞林	詠歌三首		35	
77	1890	8	23	詞林	稲妻	棚橋静江	35	
77	1890	8	23	詞林	紅葉	著者名なし	35	
77	1890	8	23	詞林	秋夕	著者名なし	35	
77	1890	8	23	詞林		勝友会幹事	35	
77	1890	8	23	詞林		求友会幹事	35	
77	1890	8	23	詞林	島地黙雷師信越佐三国巡教日記			
77	1890	8	23	日報	秋風悲	如是散人稿		
77	1890	8	23	本会広告	蓋ぞ基本に反さる			
77	1890	8	23	広告	至誠なき事業は継続せず	島地黙雷		
77	1890	8	23	夏期附録	禿字説	無善逸史		禿字説の誤り?
78	1890	9	23	会説	我が在留の外国宣教師に望む	杞憂道人		
78	1890	9	23	論説	婆羅門教の話	S.S.		
78	1890	9	23	論説	義林唯識章講義摘要(第十三回)	吉谷覺壽		
78	1890	9	23	論説	大蔵却論	独一人道		
78	1890	9	23	論説	壁に感懐の歌	エス、エス生訳		
78	1890	9	23	講義	和語転声説	松村翠濤 寄稿		
78	1890	9	23	集録	秋夕	吳竹閑人		
78	1890	9	23	集録	近世哲学史(接前)	愛煤仙史		
78	1890	9	23	集録	道徳的信仰と情感的信仰とを論じて令知会雑誌に 記す	柳生年丸		
78	1890	9	23	集録	「女子文藝学会生徒証書授与式」「神官分離党の決議」「請ふ安心せよ」「果して信なるか」「鳥尾将軍徳富氏に詰難書を贈る」「神官分離派の意見書」「饜饉杯の末路」「小楠公の墳墓所在地」「各宗協会臨時集會」「醜聞」「日蓮宗の宗門決闘」「埼玉県の水害」「夫婦財産契約」「得庵」「長周叢書の出版」「教林一枝」「真宗問答」「仏教総論」「条約改正全権委員」「立憲自由党の旨趣書」「別処栄厳大阿闍梨」「吉堀僧正逝く」「土耳其使節華艦の沈没」「改			
78	1890	9	23	学術	遊赤倉温泉記	愛煤仙士	43	
78	1890	9	23	寄書	詩歌 数首		44	
78	1890	9	23	雑報	深奥山十景山在遠江引佐郡奥山村		44	
78	1890	9	23	詞林	白崖峯	谷鐵臣	44	
78	1890	9	23	詞林	虎豹峯	類支峯	44	
78	1890	9	23	詞林	羊腸石	小野湖山	44	
78	1890	9	23	詞林	游龍窟	鐘松濤	44	
78	1890	9	23	詞林	抱腸敵	寺西易堂	44	
78	1890	9	23	詞林	貝葉?(おそらく漢)	成島柳北	44	
78	1890	9	23	詞林	龍偃杉	岩谷一六	44	
78	1890	9	23	詞林	玄?耳口に壬 関	吉岡星秋	44	
78	1890	9	23	詞林	靈仙洞	森春濤	44	
78	1890	9	23	詞林	?橋背	江馬天江	44	
78	1890	9	23	詞林	寄贈手製印版一枚於桐陰石村先生并録拙詩二首 兼為記念云	入江石泉	44	
78	1890	9	23	詞林	謁雨田上人於納福成寺席上賦呈併講法正	坂上水香	44	

78	1890	9	23	詞林	和納客中遊返水香詞兄席上次韻却呈	雨田逸史	45	
78	1890	9	23	詞林	雨田老師見跡与水香詞兄唱酬之詩乃次瑤韻以寄懷老師	聖堂山岸終成	45	
78	1890	9	23	詞林	巡詠客中詠拙著三国仏教略史有感	雨田老衲	45	
78	1890	9	23	詞林	角田七面屋	雨田老衲	45	
78	1890	9	23	詞林	詠管人伝	棚橋大作	45	
78	1890	9	23	詞林	偶成	藍田逸史	45	
78	1890	9	23	詞林	秋日訪友人某氏于巢鴨幽居	藍田逸史	45	
78	1890	9	23	詞林	新竹	静江	45	
78	1890	9	23	詞林	秋興	静江	45	
78	1890	9	23	詞林	島地黙雷師信越佐三国巡教日記(前号の続)			
78	1890	9	23	求友会記事	本年初期の帝国議會			
78	1890	9	23	日報	正名策	九華閑人		
78	1890	9	23	広告	嗚呼悲哉民貧	杞憂道人		
79	1890	10	23	会説	仏教対女学	痴堂		
79	1890	10	23	論説	今は物に接するに軽薄なからざるへからざるか	A.B.生蔵録		
79	1890	10	23	論説	義林唯識章講義摘要(第十四回)	吉谷覺壽録		
79	1890	10	23	論説	大乘起信論略説(第一)	二十二前		
79	1890	10	23	論説	大蔵却論(接前)	独一人		
79	1890	10	23	講義	和語転声説(接前)	松村翠涛 奇書		
79	1890	10	23	講義	因明と飯納法(接七十六号)	織田信麻		
79	1890	10	23	集録	今日の仏教家は最も識見を高めざる可らず	翠濤野史稿		
79	1890	10	23	集録	「僧籍設置の確定」「神祇院復興」「帝国議會召集の？勅」「勅選議員」「司法省の法制」「新民法の七去と四去」「元老院創立以來議案経過の？」「スタイン老博士逝矣」「本願寺梵鐘鑄造に付て」「徳川侯爵ユニテリアンを脱す」「第一世本因坊算砂法印の歌」「広州金法寺の本堂慶讃會」「知恩院召儀事件に関する大詐偽」「日蓮宗の調和成る」「哲学館の事業拡張」「土曜報知」			
79	1890	10	23	学術	游耶馬溪抵梯坂而返二首	前田九華	42	
79	1890	10	23	寄書	観清狂道人劍舞図	銀田稔	42	
79	1890	10	23	雜報	同	杉原謙	42	
79	1890	10	23	詞	岸松 浦深十二勝之一	雨田逸史	43	
79	1890	10	23	詞	白巖 同	雨田逸史	43	
79	1890	10	23	詞	咏松	雨田逸史	43	
79	1890	10	23	詞	窓竹	桐陰生貞一	43	
79	1890	10	23	詞	島地黙雷師巡越日誌略(前号の続)	43		
79	1890	10	23	求友会記事	勸語			
79	1890	10	23	本会広告	近時風俗の頹敗を論じて我党の士に望む所あり			
79	1890	10	23	広告	僧侶の氣象を高尚ならしむる法	菫香逸人		
80	1890	11	23	会説	仏教一対一女学	痴堂		
80	1890	11	23	会説	義林唯識章講義摘要(第十五回)	吉谷覺壽録		
80	1890	11	23	論説	青年協會講義	島地黙雷		
80	1890	11	23	論説	大乘起信論略説 其二	二十二前		
80	1890	11	23	講義	大蔵却論(接前)	独一人		
80	1890	11	23	講義	和語転声説(接前)	馬耶溪逸士		
80	1890	11	23	講義	三要々々			
80	1890	11	23	集録	因明と飯納法(接前)	織田信麻		
80	1890	11	23	集録	信仰自由の誤解を論じ基督教徒に告ぐ	静宇居士		
80	1890	11	23	集録	真妙の解	北条運慧		
80	1890	11	23	学術	「白蓮社の入仏式と報恩講」「フォンデス氏の書翰」「児島高徳の遺跡」「雄弁は真摯に若かず」「護良親土真蹟普門品」「教へくさ懺悔物語」「教林一枝」「島地師巡越中の景況一斑」「報恩講と令女教會」			
80	1890	11	23	寄書	頌徳文 南條文雄師	石沢宇記	39	
80	1890	11	23	寄書	祭辞 児玉令見師	石沢宇記	39	
80	1890	11	23	雜報	象山先生臨本争座位帖跋 二首	北沢正誠	39	
80	1890	11	23	詞林	題清狂道人劍舞之図 四首	雨田逸史		
80	1890	11	23	詞林	偶成	金尾藍田	40	
80	1890	11	23	詞林	歌 数首	石村桐陰	40	
80	1890	11	23	詞林	題名なし	木造等観	40	
80	1890	11	23	詞林	題名なし		40	
80	1890	11	23	詞林	題名なし	石上北天	40	
80	1890	11	23	詞林	題名なし	小池春香	40	
80	1890	11	23	詞林	題名なし	雄山君龍	41	
80	1890	11	23	日報	明治二十三年を送る			
80	1890	11	23	質疑	明治聖代の仏教沿革史	村上專精		
80	1890	11	23	広告	仏の字の和訓に就て	石村貞一		
81	1890	12	23	会説	御用心御要心	本郷SF生		
81	1890	12	23	論説	嗚呼悲哉貧民(接前)	杞憂道人		
81	1890	12	23	論説	義林唯識章講義摘要(第十六回)	吉谷覺壽録		
81	1890	12	23	論説	赤坂禁苑菊花拝観の記	二十二前		
81	1890	12	23	論説	大蔵却論(接前)	独一人		
81	1890	12	23	講義	和語転声説(接前)	松村翠涛 奇書		
81	1890	12	23	集録	三要(くの字形繰り返し記号)に付て	呉竹閑人		
81	1890	12	23	集録	唱導論	佐々木床清稿		
81	1890	12	23	集録	今日の仏教家は最も識見を高めざるへからず(接前)	翠濤野史稿		
81	1890	12	23	集録	「帝国議會開院式の勸語」「大山伯の銅記念像」「咄々何者の妖精が」「各宗綱要編纂事業」「各宗高僧相省みて汗を出す」「小林訥氏の書翰」「各宗協会の規約届出を却下せられたりと云ふは誤聞なり」「国重正文氏福田会評議員となる」「保存費下賜」「御断り」「仏教隔日新聞」「土曜報知社豊国義孝氏の疑問に答ふ(島地黙雷)」			
81	1890	12	23	寄書	与穂公在仏国書	前田九華 旧製		
81	1890	12	23	寄書	勸友人同講論語書	瀧川壽子		
81	1890	12	23	雜報	観清狂道人劍舞図	巖国香川小次郎		
81	1890	12	23	詞林	月性師三十三回の追薦	上毛 清水吟爾		
81	1890	12	23	日報	歴代天皇落飾法号一覧表			
81	1890	12	23	本会広告	會員募集広告			
81	1890	12	23	広告	明治二十四年に対する吾人が決心			
82	1891	1	23		此自撰々他を如何にせん	FS生		
82	1891	1	23		仏の字の和訓に就て	紅葉山人		
82	1891	1	23	会説	方法一心(第四接七十三号)	畠山受証		
82	1891	1	23	論説	亀毛兎角	島地黙雷		
82	1891	1	23	論説	義林唯識章講義摘要(第十七回)	吉谷覺壽		
82	1891	1	23	論説	大蔵却論(接前)	独一人		
82	1891	1	23	講義	和語転声説(接前)	松村翠涛		
82	1891	1	23	講義	守護地頭の談	桐陰居士		
82	1891	1	23	集録	彼岸考	著者名なし		
82	1891	1	23	集録	宗教の改良何事ぞ終に教海の前途に及ぶ	柳生年丸		
82	1891	1	23	集録	「各地に於ける元旦の天気」「帝国議會に於て初めに宗教の			
83	1891	2	23	詞林	寒梅 其五輪、其六輪	春園主人		
83	1891	2	23	詞林	自二月一日至同月十五日			

